

事 務 連 絡
令和 3 年 3 月 9 日

建設業労働災害防止協会神奈川支部長 殿

神奈川労働局労働基準部安全課長

建設工事等におけるガスパ이프損傷による労働災害の防止について（要請）

標記について、令和 3 年 3 月 5 日付け事務連絡により厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長（以下「建設安全対策室長」という）から別添のとおり通知がありました。

貴協会には建設安全対策室長から別添のとおり要請済みですが、当局管内においても、建設工事におけるガスパ이프損傷事故による労働災害を防止するため、説明会の機会等に周知徹底していただきますようお願いいたします。

事 務 連 絡
令和 3 年 3 月 5 日

都道府県労働局労働基準部安全主務課長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課
建設安全対策室長

建設工事等におけるガスパ管損傷による労働災害の防止について（要請）

標記については、労働安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 32 号、以下「安衛則」という。）第 355 条に基づき地山の掘削の作業を行う場合の作業箇所及びその周辺の地山についての埋設物等の有無及び状態の調査の実施等、事業者に対してガスパ管損傷による労働者への危害を防止するための措置の実施が義務付けられており、また、平成 19 年 3 月 22 日付け基発第 0322002 号「建設業における総合的労働災害防止対策の推進について」において、改修工事の際に、作業計画にガス会社等への事前連絡等についても定めることを通知しているところである。

今般、昨年に引き続き経済産業省産業保安グループガス安全室長から、建設工事等におけるガスパ管損傷事故の防止に関する事業者等への要請について、別添 1 のとおり、協力依頼があった。

については、各局においても、同対策について関係者へ周知を図られたい。なお、別添 2 により当室から建設業労働災害防止協会に対し、建設工事等におけるガスパ管損傷による労働災害の防止について要請を行っていることを申し添える。

経 済 産 業 省

連 絡 文 書
令和 3 年 2 月 2 6 日

厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課建設安全対策室長 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、建築物解体関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、2018年から2020年の3年間で514件、負傷者数28名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約2割以上の割合で発生し、2020年は速報値で167件発生しております。

最近の事故事例では、2020年1月に、ガス給湯設備の給水管を撤去する際に誤ってガス管を切断したため、漏えいしたガスに引火し作業員1名が負傷する事故や、同年4月に、下水工事において、コンクリートカッターで誤ってガス管を損傷したため、漏えいしたガスに引火し、作業員2名及び対応したガス事業者社員1名が負傷する事故がありました。

このように建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なからずあり、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

経済産業省では、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の発生防止の観点から、ガス業界を挙げて建設工事等の施工事業者に対する啓発・広報活動の充実を進めているところです。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
- ・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

- ・参考資料１ ２０２０年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料２ ２０１９年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料３ ２０１８年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料４ 建設工事等事業者向けパンフレット

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等) 件数	２０１８年	２０１９年	２０２０年	計
ガス事故件数	６１４	６３９	５３１	１，７８９
うち、都市ガス	４０３	４４１	３３９	１，１８３
液化石油ガス	２１１	１９８	１９２	６０６
建設工事等事故件数	１４１	２０６	１６７	５１４
うち、都市ガス	９３	１４８	１１５	３５６
液化石油ガス	４８	５８	５２	１５８
うち、事前照会無し	１０７	１７３	１５４	４３４
建設工事等事故による負傷者数	９	９	１０	２８

(経済産業省ガス安全室調べ)

経済産業省

連 絡 文 書
令和3年2月26日

厚生労働省医薬・生活衛生局 水道課長 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、建築物解体関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、2018年から2020年の3年間で514件、負傷者数28名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約2割以上の割合で発生し、2020年は速報値で167件発生しております。

最近の事故事例では、2020年1月に、ガス給湯設備の給水管を撤去する際に誤ってガス管を切断したため、漏えいしたガスに引火し作業員1名が負傷する事故や、同年4月に、下水工事において、コンクリートカッターで誤ってガス管を損傷したため、漏えいしたガスに引火し、作業員2名及び対応したガス事業者社員1名が負傷する事故がありました。

このように建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なからずあり、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

経済産業省では、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の発生防止の観点から、ガス業界を挙げて建設工事等の施工事業者に対する啓発・広報活動の充実を進めているところです。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者、立会を求めること。
- ・ガス事業者、照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者、連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者、連絡すること。

- ・参考資料 1 2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 2 2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 3 2018年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 4 建設工事等事業者向けパンフレット

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等) 件数	2018年	2019年	2020年	計
ガス事故件数	614	639	531	1,784
うち、都市ガス	403	441	339	1,183
液化石油ガス	211	198	192	606
建設工事等事故件数	141	206	167	514
うち、都市ガス	93	148	115	356
液化石油ガス	48	58	52	158
うち、事前照会無し	107	173	154	434
建設工事等事故による負傷者数	9	9	10	28

(経済産業省ガス安全室調べ)

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1	1/6	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「増改築工事業者より道路工事中、ガス管に3cmほどの穴を開けた。手当なし。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管(32mm ポリエチレン管)の継手部の破損を確認した。 原因は、増改築工事時に、ディスクグラインダーにてコンクリートを切断中、誤って灯外内管を破損したものと推定される。 なお、増改築工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。配管工事にて復旧完了。
2	1/7	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、ガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、当該敷地内管の建物基礎解体作業中に、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管: 25mm)の接続部を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、元請け業者の建設工事業者から解体工事業者の作業員に、ガス管位置についての引継ぎが適切になされていなかったことから、ガス管があることを認識してはいたが、作業範囲内にはないものと思い、作業した結果重機にてガス管を損傷したものの。
3	1/8	鳥取県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体業者より作業中にガスの配管を折損した旨の連絡を受け、販売事業者が現場へ出動し補修作業を行った。 原因は、解体業者が作業中重機により立ち上がり配管を折損させたことによるもの。 なお、解体事業者は販売事業者に事前の確認と連絡を行わなかった。 (バルク貯槽 980kg×1基)
4	1/11	千葉	水道工事	都市ガス	0	他工事施工者より、建物の給水管工事に伴いコンクリートへカッター入れ作業において誤ってガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該建物の灯外内管の損傷を確認した。 原因は、水道工事施工者が、工事範囲にガス管がないと思い込みガス管の位置を確認をせず、カッター入れ作業を行ったため。
5	1/11	東京	解体工事	都市ガス	0	当該住所付近を通行されていた方から、道路上でガスの臭気を感じたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者が建物及び基礎の解体作業中に、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管 32mm)を重機にて引っ掛けたことで、ガス供給管が損傷したことを確認した。 原因は、敷地内の建物及び基礎の解体作業範囲内にはガス管が埋設されていないと思い込んでガス管の位置を確認をせず作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
6	1/11	千葉	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管(25mm)を重機にて損傷させた際、供給管(25mm)が引っ張られたことで接続部より抜けたことを確認した。 原因は、元請け業者の建設工事業者から解体工事業者の作業員に、ガス管の位置についての引継ぎが適切になされていなかったことから、ガス管があることを認識してはいたが、作業範囲内にはないものと思い、作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7	1/14	埼玉県	水道管切断工事	LPガス	1	特別養護老人ホームにおいて、水道設備業者から工事を請け負っている解体業者がガス給湯設備の給水管を撤去する際、誤って電動カッターでガス配管2か所を切断したことにより漏えい火災が発生し、作業員1名が軽度の火傷を負った。また、発火した炎により給湯器2台が一部焼損した。 原因は、解体業者が給水管と並列している配管がガス配管であることに認識がなく、切断を続けたところ、2回目の切断で電動カッターの火花に漏えいしたガスが引火したものの。 なお、事故当日に販売事業者が作業員全員に注意喚起を実施していた。 (バルク貯槽 985kg×1基)
8	1/14	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中に地盤沈下しガスの臭気が出るとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該敷地内の建物基礎等の解体作業中に、廃材等の重みにより地盤が崩れ敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管: 40mm) が損傷したことを確認した。 原因は、敷地内にガスの通じたガス管の位置について認識していたため、ガス管を避けて作業を行っていたが、建物基礎等の廃材を敷地内の端へ寄せたところ、付近の地盤が崩れたことでガス管が損傷したものの。
9	1/15	秋田県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、設備工事業者による浄化槽設置作業中に埋設供給管を損傷させた旨の通報を消防が受け、消防から連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、供給設備の元バルブを閉止した。 原因は設備工事業者がバックホーにより掘削作業を行ったところ、誤って供給管を損傷させ、漏えいしたことによるもの。 なお、設備工事業者は埋設供給管の状況を確認せず作業を行ったとのこと。
10	1/22	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者から作業中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を販売事業者が受け、当該水道工事業者にバルブを閉止するよう指示し、その後、現場へ出動し補修作業を行った。 原因は、水道工事業者が給水管の掘削作業中に、ハンマードリルにより誤って埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者より販売事業者に事前の連絡はなかった。
11	1/23	兵庫県	解体作業	LPガス	0	一般住宅において、解体工事中に埋設供給管(25A)を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、シールテープによる応急処置及び修繕作業を行った。 原因は、解体工事業者が工事中に埋設管の位置を十分確認せずに、重機により損傷させ漏えいしたことによるもの。 なお、当該住宅は解体工事後オール電化住宅に切り替わる予定で1月11日にガス取引解約に伴い、埋設管を宅地内に導管切除していた。
12	1/28	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「屋外臭気。」で受付けガス事業者が出動したところ、解体工事現場よりガス臭気反応を確認。灯外内管(25mm 防食テープ巻きされた白管: 不使用管)のねじ継手部の破損を確認した。 不使用管につき、破損箇所上流側で切断プラグ止めを実施し、復旧完了。 原因は、塋壁取壊し中、掘削機(バックホウ)にて誤って灯外内管を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
13	1/31	愛知	整地・造成工事	都市ガス	0	市営住宅の建替えに伴う造成工事において、下水管撤去工事中に灯外内管を損傷。ガス導管内の圧力が一時的に低下したことにより、周辺の需要家のガスメーターの遮断機能が作動し、38件が供給支障となったもの。 原因は、他工事に伴う事前立会の際、ガス事業者の担当者が、他工事施工者に対し、既設ガス導管の撤去状況を誤って伝達した(撤去未実施であったが実施済みと伝達した)ため、ガス導管は撤去済みと認識し、重機にて掘削を行ったため、ガス導管の損傷に至ったもの。
14	2/3	愛知	下水工事	都市ガス	0	マンションの下水管入替工事にて地中梁をブレーカーで研っていたところ灯外内管を損傷。漏えいしたガスを停止するため、引込管ガス遮断装置を閉止し、同マンションの3棟153戸が供給停止となった。 原因は、下水管施工業者が、ガス管は地中梁より深い位置に埋設しているものと思い込んでおり、事前の照会を実施しないまま研り作業を行ったため、ガス管の損傷に至ったもの。
15	2/4	京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体作業中、ガス管を破損した。」で受付けガス事業者が出動したところ、敷地内で整地作業中に灯外内管(32mm塩化ビニルライニング鋼管:不使用不明管)を引き抜いたため、供給管(32mm塩化ビニルライニング鋼管:不使用不明管)が破損したことを確認した。 原因は、解体工事後の整地作業中にバックホウにて灯外内管を引き抜いたため供給管のねじ継手部を破損したもの。 不使用管につき、破損箇所上流側にて1切断プラグ止めを実施し、復旧完了。
16	2/5	神奈川県	解体作業	LPガス	0	事務所兼家屋(ショールームスペース)において、リフォーム工事業者から解体作業中にガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が、ガス栓や容器バルブを閉止するように伝え現場へ出動したところ、ガスメーターに合計・増加流量オーバー遮断(C表示)がされており、漏えい箇所を確認した。 原因は、リフォーム工事業者が当該建物の解体作業中に、ガスファンヒーター用の配管用フレキ管(10A)を損傷させたことによるもの。
17	2/7	兵庫	水道工事	都市ガス	0	ガス事業者他工事担当者より「掘削時にバックホウでガス管を破損。ガス管が元から抜けており、手当てできず。」で受け付けガス事業者が出動したところ、破損箇所周辺で滞留ガスを確認した。また、ポータブルファンにて強制排出、常時監視を実施。破損箇所上流側で掘削し、供給管(32mm塩化ビニルライニング鋼管:不使用不明管)継手部の折損を確認した。 原因は、水道工事中、バックホウにて供給管を破損したもの。不使用管につき本管取出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
18	2/8	岐阜県	穴開け作業	LPガス	0	リサイクル工場において、水道工事業者が室内で壁の穴開け作業を行っている際、室外側にある50kg容器2本のうち1本に誤ってドリルで穴を開けてしまいガスが漏えいした。

No.	発生月	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
19	2/10	群馬	その他 (需要家)	都市ガス	0	需要家から、畑において枯草等の焼却をしていたら、ガス管に火がついたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該現場敷地内の畑にて着火事象を確認したため、消火器により消火の措置を実施。また、ガス管(灯外内管: 25 mm) が損傷しており、そこからガスが漏出していることを確認した。 原因は、需要家にて敷地内の畑を耕す作業の際に、耕運機にてガス管を損傷させた可能性があり、事故発生当日、当該現場敷地内の畑で枯草等の焼却をしていた火が、損傷していたガス管から漏出したガスに着火したものと推定。損傷箇所の上流側での切断措置完了。
20	2/12	宮城県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅の空き家(集団供給)において、解体工事業者より作業中にガス臭がする旨の連絡を販売事業者が受け、現場へ出動したところ、集団供給の枝管立ち上がり部が折損していることを確認した。 原因は、既に閉栓済みの空き家を解体工事業者が解体する際、重機により埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、解体工事業者は供給配管が埋設されていることを確認せず掘削作業を行ったとのこと。
21	2/19	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「側溝工事作業中、ガス管を引き抜いて、噴出している。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管(25mm 亜鉛引き鋼管:防食テープ巻き: 不使用管)継手部の破損を確認した。 原因は、地工事業者が側溝整地作業中、バックホウにて灯外内管のねじ継手部を破損したものと推定される。 なお、整地工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所上流側でプラグ止めを実施し、復旧完了。
22	2/19	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中、バックホウにて25mm のガス管を曲損した。」で受付けガス事業者が出動したところ、供給管(25mm 塩化ビニ)レライニング鋼管)の曲損を確認すれど、漏れ箇所特定できず。破損箇所へガスバック挿入し供給遮断を行い応急措置を完了した。 原因は、水道工事業者が、引込管工事時バックホウにて道路掘削中に、供給管のねじ継手部を破損したものの。 なお、水道工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所を一部取替え、復旧完了。
23	2/21	東京	解体工事	都市ガス	1	設備工事業者から、ガス管を損傷し着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、設備工事業者より依頼を受けた解体工事業者の作業員が、当該建物内の改修工事中に灯外内管(32mm)を電動工具にて切断した際に着火し、火傷を負ったことを確認した。 原因は、当該建物内の改修工事作業範囲内にガス管があることを確認していたものの、ガスの通じたガス管ではないものと思い、電動工具にてガス管を切断した結果、着火・負傷した。また、引き込み管ガス遮断バルブを閉止したことで供給支障も発生。
24	2/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「家屋の解体時に、掘削していると臭気。」で受付けガス事業者が出動したところ、官民境界の敷地側の灯外内管(25mm アスファルトジュート巻鋼管: 不使用不明管)のねじ継手部の折損を確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内をバックホウにて掘削中に、灯外内管を破損したものと推定される。不使用管につき、支管面取り出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
25	2/24	大阪	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	消防から「給湯器が異常着火し、機器が焼損。」で受付けガス事業者が出動したところ、屋外設置の給湯器本体及び周辺物の焼損(火災認定あり)及び当該給湯器行きのフレキ管の管体部を切断した形跡を確認した。 原因は、需要家が電動工具(電動のこぎり)で植木を伐採中に誤って灯内内管(20mm フレキ管)の管体部を破損しガスが漏えい。同時に給湯管も破損し、水が漏れたため機器が給湯使用状態と判断し、温水にすべく着火スパークが発生し、漏えいしたガスに引火し給湯器等の焼損に至ったものと推定される。 なお、需要家から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所上流側で切断・プラグ止めを実施し修繕完了。
26	2/25	埼玉県	草刈り作業	LPガス	0	一般住宅において、消費者から給湯器周辺からガス臭がする旨の電話を受け、販売事業者が消費者に容器のバルブの閉止とメーターガス栓の閉止を依頼し現場へ出動した。現場で確認したところ、ガスメーターから給湯器へ向かっている配管用フレキ管(15A)の被覆が破れ穴が開いているを確認し、修繕作業を行った。 原因は、消費者から依頼を受けた植栽業者が草刈りを行った際、誤って配管を損傷したことによるもの。
27	2/25	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅(集団供給)において、水道工事業者が住宅入口私道部の水道管の掘削工事中に誤って埋設供給管を損傷させたもの。水道工事業者は、応急措置を行い、販売事業者に通報し、到着した販売事業者が漏えい検査及び供給管の修繕作業を行い、復旧工事を完了した。 原因は、水道工事業者が供給管があることを確認せずに工事を行ったことによるもの。 なお、販売事業者は今回の工事に対応していたが、入口私道部の掘削工事に關しては把握していなかったとのこと。
28	2/26	新潟県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で地盤面を掘削したところ、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、解体工事業者が埋設供給管の存在を認知していなかったことによるもの。 なお、消費者は以前からガスを使用しておらず、縁切りされた供給管が住宅敷地内に埋設された状態だったとのこと。
29	2/28	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防より「改築工事業者から小学校2階でガス管を切ってガス漏洩した。詳細不明、臭気の有無も不明。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯内内管(20mm 亜鉛引き銅管:不使用管)の破損を確認した。 原因は、教室の改装工事に伴い床を研削している時に、電動ディスクグラインダにて誤って、灯内内管を破損したものと推定される。 なお、改装工事業者からガス事業者への事前協議はなし。不使用管につき、破損箇所上流側にて切断プラグ止めを実施し、復旧完了。
30	2/29	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管を破損し手当できず。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管(30mm ポリエチレン管)破損箇所については消防にてテープ巻き実施済みを確認した。 原因は、敷地内基礎コンクリートを解体中に不使用の灯外内管を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所上流側で切断、キャップ止めを行い復旧完了。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
31	3/2	東京	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガスを損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、当該建物地下1階店舗内の排水工事に伴うコア抜き作業中に、シンダー(スラブ)内に配管されていたガス管(灯外内管:40mm)を損傷したことを確認した。原因は、事前にコア抜き箇所のレントゲン撮影を行い、ガス管が写っていなかったため、作業した結果、ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したもの。また、引込管ガス遮断バルブを閉止したことで、当該建物の供給支障が発生。
32	3/9	埼玉県	配水管修繕工事	LPガス	0	集合住宅において、水道工事業者から配水管修繕工事中に、ガス供給管を損傷させガスが漏えいした旨の連絡を受け、販売事業者は容器のバルブを閉止するよう指示し現場へ出動した。現場に到着し、集合住宅全世帯にガスの復旧作業を行う旨を周知し、損傷部のガス管の引き上げ等修繕作業を行った。原因は、水道工事業者が作業中、誤って電動カッターで供給管を損傷させたことによるもの。なお、水道工事業者は配水管修繕工事に関して、販売事業者へ事前連絡をしていなかったとのこと。
33	3/9	茨城	その他(造園)	都市ガス	0	消防から、当該住宅の敷地内にてガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、造園会社の作業員が、当該住宅の庭内に防草シートを敷設する際のピン打ち込みにおいて、敷地内に埋設されていたガス管(灯内内管:20mm)を損傷したことを確認した。原因は、当該住宅の庭内に防草シートを敷設する際、シートを押さえるピンを打ち込む箇所にガス管が埋設されているとは思わず、作業した結果、ガス管を損傷したもの。
34	3/12	東京	解体工事	都市ガス	0	付近住民から、建物の解体工事現場よりガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体中の建物地下の天井に配管された灯外内管(25mm)の接続部からガスが漏えいしていることを確認した。原因は、当該建物解体時の廃材等が1階床部に山積されたことで、その荷重が床部(地下天井付近に配管されていた灯外内管の接続部)に掛かり、ガス管が損傷したと推測される。
35	3/12	鳥取	解体工事	都市ガス	0	家屋解体時に誤ってガス管を破損したが、気が付かず放置、同日午後9時ごろ通行人がガス臭いことに気づき消防に通報。消防からの通報でガス事業者が出動し漏洩処理を実施した。原因は、解体工事業者が建物にLP用のガスメーターが設置されており、都市ガスが埋設されていないと思い込んで、ガス管の位置を確認せず作業を実施したため。
36	3/15	千葉県	伐採作業	LPガス	0	保健福祉センターにおいて、施設担当者より、樹木を伐採したところ倒れた木がガス管を損傷させガスが漏えいしている旨の連絡を販売事業者が受け、現場に出動した。現場で確認したところ、地下埋設式バルク貯槽の液相配管より液が噴出し、周辺が白くなっており噴出箇所を目視できない状況であったため、消防隊に放水の協力を要請した。放水によりガスを拡散させ、プロテクター内の液取り出し弁を閉止し、倒れた樹木を撤去したところ、配管安全弁が元弁から外れていることを確認した。原因は、他工事業者が地下埋設式バルブ貯槽付近の樹木伐採作業中に、倒れた木が配管安全弁の放出管を損傷させたことによるもの。 (バルク貯槽 2900kg×1基)

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
37	3/15	埼玉県	切断作業	LPガス	0	学校において、教員よりガス配管が損傷しガスが漏れいている旨の連絡を受けた保安機関が販売事業者に連絡し、連絡を受けた販売事業者は現場に出動し、漏れい箇所の確認及び修繕作業を行った。 原因は、水道工事業者が漏水復旧の作業中に水道管とガス管を誤って切断したことによるもの。 なお、工事に関して販売事業者への事前連絡がなかったとのこと。
38	3/19	新潟県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、建築業者が駐車場建築のため、土間コンクリート工事中に重機で地盤面を掘削したところ、誤って埋設供給管を損傷させ漏れいが発生した。 原因は、建築業者が埋設供給管の存在を認知していなかったことによるもの。 なお、消費者は以前からガスを使用しておらず、縁切りされた供給管が住宅敷地内に埋設された状態だったとのこと。
39	3/21	大阪府	解体作業	LPガス	0	保育園において、元請建設業者より給湯室の壁を解体中に天井壁が崩落し、ガス配管を折損させガスが漏れいしている旨の連絡を販売事業者が受け、現場に出動した。販売事業者は現場にてガス供給を停止させた。 原因は、保育園の校舎建て替え工事に伴い、旧園舎の解体工事中に誤って配管を折損させたことによるもの。
40	3/24	福岡県	外構撤去作業	LPガス	0	集団供給の戸建て住宅において、解体工事業者が外構撤去作業を行う際、重機で引き抜いた門柱が埋設供給管に転倒したことにより、立ち上がりネジ部が損傷しガスが漏れいした。 なお、販売事業者は工事前に解体事業者と打ち合わせを行い、供給管立ち上がり部のキャップ止め及びガス管の注意テープを貼付し、外構の撤去作業時には事前に連絡するようお願いしていたが、連絡せずに撤去作業を実施していたとのこと。
41	3/27	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が敷地内に埋設されていた灯外内管(40mm)を重機にて引っ掛けた際、供給管(50mm)が引っ張られたことで、接続部が損傷したことを確認した。 原因は、元請の解体工事業者から現場監督及び作業員にガス管の位置についての引継ぎが適切になされておらず、また、ガス管表示杭も見受けられないため、作業範囲にはガス管はないものと思い、作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
42	3/30	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「基礎工事中、ガス管が出てきて掘削機で破損。」で受付けガス事業者が出動したところ、引込み管遮断バルブ上流側にてガスを検知した。 原因は、基礎工事時、アースオーガにて敷地内を掘削していた際、灯外内管(100mm ダクタイル鋳鉄管:不使用管)を破損したものと推定される。 なお、建築工事業者から、ガス事業者への事前協議無し。不使用管にて本管取出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
43	3/31	岐阜県	研り作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者より地面の研り作業中に誤って埋設配管を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が現場に出動したところ、容器のバルブが閉められ、ガスメーターにて供給が遮断されていることを確認した。12時頃には破損した埋設配管の埋め戻しして露出配管を敷設し、復旧作業を完了した。原因は、水道工事業者が工事中、削岩機により誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
44	4/1	宮崎	下水工事	都市ガス	3	当該建物における下水工事の作業者が、コンクリートカッターにより舗装切断作業を行っていたところ、誤って灯外内管を損傷した。漏えいしたガスを停止しようと、コンクリートはつり作業にてガス管の掘出し中に火花が引火源となり着火、掘り出し作業に従事していた作業員1名と現場に緊急出動したガス事業者1名が顔に火傷を負った。原因は、下水工事業者が、工事範囲内にガス管がないと思い込み、ガス管の位置を確認をせずにコンクリートヘカッター入れ作業を行ったため。なお、当該下水工事業者からガス事業者への事前照会はなし。当該下水工事の支障とならない位置に移設工事完了。
45	4/4	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅の空き家において、解体工事業者が地盤面の掘削作業中に埋設供給管を損傷したため、現在供給中の都市ガス会社を通じ、2017年2月までLPガスを供給していた販売事業者と連絡した。販売事業者が現場に出動し損傷個所の復旧作業を行った。原因は、解体工事業者が埋設供給管の存在を確認せずに掘削作業を行ったことによるもの。なお、周辺の家屋には、現在も集中供給方式でLPガスを供給しており、当該空家の敷地内にLPガス供給時の配管が残置された状態で分岐配管の先端部をキャップ止めている状態であった。
46	4/7	大阪府	解体作業	LPガス	0	一般住宅(空家)において、解体工事業者が解体作業を行っているところ、当該住宅敷地内のLPガス立上り供給管を重機により損傷させガスが漏えいした。解体業者より販売事業者へ通報し、到着までに破損箇所をテープ巻きにて処置を行い、販売事業者が到着後、応急措置及び修繕作業を行ったもの。原因は、解体工事業者が解体作業中、重機により供給管を損傷させたことによるもの。なお、当該空家は都市ガスを使用していたため、解体工事業者は敷地内の都市ガス管の撤去を要請し工事は完了していたことから、埋設されていたLPガス供給管に気づかなかったとのこと。
47	4/7	埼玉	解体工事	都市ガス	0	当該現場近傍で作業中の下水道工事業者よりガス臭気をするとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該現場の敷地内に埋設されていた灯外内管(白管:25mm)の接続箇所が破断しており、ガスが流出していることを確認した。原因は、当該現場の敷地内に埋設されていた灯外内管が、本年1月下旬まで実施の解体工事期間中において、何らかの作業影響(外力)を受けたことにより接続箇所が破断したものと推測される。
48	4/11	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体中にガス管を破損。道路から臭気する。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管(25mm 亜鉛引き鋼管(防食テープ巻き):不使用管)の管体部の破損を確認した。原因は、解体工事時、バックホウにて掘削作業中、誤って、灯外内管を破損したものと推定される。不使用管につき、支管取出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
49	4/13	長崎県	掘削作業	LPガス	0	空き地において、土木工事業者より工事中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者がガス止め等を指示し、現場に到着後、修繕作業を行った。 原因は、土木工事業者が当該空き地を駐車場整備工事のため、重機により掘削作業を行ったところ、誤って埋設供給管を損傷させたもの。 なお、土木工事業者は埋設管があることの認識が無く、販売事業者に対し事前連絡を行っていなかった。また、経年のため標示杭は不明で埋設シートはなかったとのこと。
50	4/14	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から、解体工事中にガス管を損傷した現場ありとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が当該敷地内のアスファルト舗装撤去工事中に、埋設されていた灯外内管(30mm)を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、当該敷地内に舗装されたアスファルト撤去工事の作業範囲内には、ガス管が埋設されているとは思わず作業した結果、重機にてガス管を損傷したもの。
51	4/16	大阪	外壁工事	都市ガス	0	建築工事業者から「ブロック塀工事に土間のコンクリートをサンダーで切断中にガス管を破損。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管25mm 塩化ビニルライニング鋼管)継手部(エルボ)の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う外構工事の為、床のコンクリートをディスクグラインダーでカッター切り作業中に、隣宅の灯外内管継手部(エルボ)を破損したものと推定される。 なお、建築工事業者から、ガス事業者への事前協議無し。配管工事にて復旧完了。
52	4/23	大阪	その他(需要家)	都市ガス	0	保育園(園長)より「保育園敷地内の畑の杭を抜いたら、「シュー」という音とガスの臭気がしてきた。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯内内管(30mm ポリエチレン管)の鋼製杭による破損及びメーターガス栓閉止にて応急措置済みを確認した。 原因は、約1年前、畑に刺した鋼製杭にて灯内内管管体を破損したものの。当時ポリエチレン管に刺さった状態でガス漏れはなかったと推定される。 なお、事前協議などの連絡はなし。
53	5/1	奈良	その他(需要家)	都市ガス	0	需要家より「ガス管をノコギリで破損した」で受付けガス事業者が出動。需要家より消防へ連絡し警戒区域設定済み。フレキシ管の破損を確認した。 原因は、需要家にて敷地内庭の樹木を根切り中、電動セーバーソーにて、誤って灯外内管(25mmフレキシ管)を破損したもの。 なお、需要家から、ガス事業者への事前協議無し。破損箇所一部取替えを行い復旧完了。
54	5/14	千葉県	解体作業	LPガス	0	戸建て住宅において、解体工事業者が外壁を取り壊す際、供給管の一部を折損し、漏えいが発生した。解体工事業者より通報を受けた販売事業者が現場に出動し修繕作業を行った。また、翌日に当該敷地外にある戸建てとアパートに集中供給する埋設分岐部分を切り離し、対応を完了した。 原因は、解体工事業者が建物の外壁を解体する際、誤って重機により供給管を損傷したもの。 なお、現場では1つの供給設備より8世帯アパートとオーナー自宅の2棟の建物に集中供給をしており、今回はオーナー宅の取り壊しによる工事だったとのこと。また、建物の解体前にオーナーより販売事業者へ設備の撤去依頼があり、ガスメーターを撤去したが、両者の認識違いにより、立ち上がり供給管の撤去は実施しなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
55	5/19	大阪	衛生工事	都市ガス	0	衛生設備工事業者より「側溝カット済みのガス管にバックホーが当たり土嚢袋で押えている」で受付けガス事業者が出動。掘削調査の結果、敷地内灯外内管(50mm ポリエチレン管:不使用管)継手部の破損を確認した。 原因は、元請業者より衛生設備業者へガス管位置は周知していたが、バックホーにて灯外内管(50mm ポリエチレン管)を持ち上げ、継手部の破損に至ったものと推定される。 不使用管につき破損箇所上流側で切断・カップ止めを実施し、復旧完了。
56	5/21	東京都	掘削作業	LPガス	0	更地において、改良工事業者が建て替え工事中、基礎杭打ちの印をするために鉄くぎを打ち込んだところ、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。販売事業者が現場に出動したところ、供給管に鉄くぎが刺さっており、濡れタオルで損傷部を巻いてあることを確認した。スクイズで漏えいを止め、破損箇所を切断し、補修作業を行った。 原因は、前日に建設業者はガス表示杭の位置を説明していたが、改良工事業者はその内容を把握しておらず、供給管位置を確認せずに鉄くぎを打ち込んだことによるもの。 (バルク貯槽 980kg×1基)
57	5/23	京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体作業中、バックホーの爪でガス管を破損」で受付けガス事業者が出動したところ、歩道の下水マンホールにてガス検知器反応有を確認した。 原因は、解体工事中にバックホーの爪にて灯外内管を引っ掛けた際、供給管側に応力がかかり供給管継手部の折損に至ったものと推定される。 不使用管につき、本管取出し面にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
58	5/27	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、改修工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が当該建物地下1階の空き店舗改修工事に伴うコンクリート破砕中に、シンダー内に配管されていた灯外内管(32mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、シンダーコンクリート破砕作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わず作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。
59	5/27	兵庫	整地・造成工事	都市ガス	0	造成工事業者より「道路の側溝工事中にガス管破損」で受付けガス事業者が出し出動。臭気及びガスを検知し、支管(50mm アスファルトジュート巻き鋼管)継手部の破損箇所を確認した。 原因は、道路側溝工事の際、バックホウ(掘削機)にて掘削中に誤って支管(50mm アスファルトジュート巻き鋼管)を破損したものの。 なお、造成工事業者からガス事業者への事前協議は無し。破損箇所両側のプラグ止めにて復旧完了。
60	6/2	茨城県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、市の依頼を受けた測量業者が測量を行った際、当該共同住宅の敷地内に目印杭を打ったところ、供給管を損傷しガスが漏えいしたものの。測量業者の通報を受けた大家より連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、漏えい箇所の確認や供給停止等修繕作業を行った。 原因は、測量業者に対する配管経路の周知不足及び測量業者の確認不足によるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
61	6/2	福岡	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	当該敷地内(駐車場跡)における新築工事において、他工事業者が地盤改良作業中、埋設された灯外内管 50mmを破損した。破損部よりセメント系固化剤がガス管内に流入し、管内を閉塞した。 原因は、他工事業者による新築工事に伴う地盤改良作業中に灯外内管を破損したもので、引込管ガス遮断装置の閉止により供給支障が発生。 なお、当該他工事業者は、ガス管には影響がないと判断し、埋設状況等の十分な確認を行うことなく着工した。損傷箇所の取替工事完了。
62	6/4	神奈川	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、雨水配管を敷設工事していた水道工事業者の作業員が、当該敷地内に埋設されていた灯外内管(30mm)を重機にて損傷し、併せてその際、供給管が引っ張られ本管との接続箇所からもガスが流出したことを確認した。 原因は、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていること及び、ガス管表示杭を認識していたものの、作業範囲内にはガス管がないと思い込んで、重機による掘削時にガス管を損傷したものの。
63	6/5	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、当該建物地下1階の空き店舗改修工事に伴うコンクリート破砕中に、シンダー内に配管されていた灯外内管(50mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、シンダーコンクリート破砕作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わず作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。 (未照会工事) 損傷したガス管の取替工事完了。 供給支障件数:55戸 供給支障時間:295分
64	6/5	埼玉	解体工事	都市ガス	0	消防から、工事現場にてガス臭気ありとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該住宅の解体作業中に、敷地内に埋設されていた灯外内管(25mm)を損傷したことを確認した。 原因は、解体する当該住宅にガス管が配管されていることを確認していたが、ガスメーターが付いていない(休止中)ことから、ガスは通じていないものと思い、ガス管撤去工事の依頼を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
65	6/16	千葉	水道工事	都市ガス	0	水道業者より、住宅敷地内にてガス管を破損させたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、コンクリートカッターで掘削した際に残置灯外内管を破損、ガスの漏えいがあることを確認。 現在は他燃料(都市ガス)使用需要家宅内にある以前供給していた際の残置管が他工事により破損、安全確保の為該当区画の一部需要家の供給支障となったもの。
66	6/16	宮城	電柱設置工事	都市ガス	0	需要家3軒よりガスがでないとの連絡を受け、需要家にガスメーターを確認していただいたところ、BCPガス止め(圧力低下)の表示が出ているため出動し調査を実施した。 特定製造所内を調査し異常がないため、周辺調査したところ他工事による掘削跡があり、当該箇所を再掘削し本管PEの折損及びガス漏えいを確認した。 原因は、NTT電柱入替工事による試掘調査の際アースオーガにて埋設されていたガス管を折損させたが、気付かないまま埋め戻したことに よる、

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人損被害	事故概要
67	6/19	愛媛県	リフォーム 作業	LPガス	0	一般住宅において、リフォーム業者が作業を行っているところ、集団供給設備の敷地内埋設供給管の引込バルブ上流側を破損させ、漏えいが発生した。リフォーム業者より連絡を受けた都市ガス業者が現場に出動し応急措置を行った。その後、都市ガス業者より連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、補修工事を行った。 なお、当該物件は、以前、集団供給設備によりLPガスが供給されていたが、ある時期から都市ガスに切り替えたとのこと。都市ガスへの切り替えとともに、販売事業者は引込バルブを閉止し、下流側の供給管及びガスメーターを撤去することで供給を停止していた。また、上流側の供給管は敷地内の地中に残した状態で他物件へガス供給を継続していたとのこと。 原因は、戸建住宅において、他物件へ集団供給方式で供給中の引込供給管をリフォーム業者が誤って破損させたことによるもの。
68	6/23	東京	建物建築 工事	都市ガス	0	建築工事の施工者より、新築工事中にガス臭気があるという通報を受けガス事業者が出動。調査を行ったところ、オーガーにて低圧支管が損傷し、ガスが漏出していることが判明した。 原因は、建築工事の施工者が、当該建築現場の作業範囲にガス管が埋設されていないと思い、オーガーにてガス管を損傷したものの。
69	6/23	東京	整地・造成 工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事現場でガス臭気があるとの通報を受けガス事業者が出動したところ、地盤改良工事で埋設されていた灯外内管(30mm)を重機にて引っ掛けた際、供給管(30mm)が引っ張られたことで損傷し、本管との接続箇所からガスが流出したことを確認した。 原因は、作業範囲内にはガス管はないものと思い込んでいたため、重機による作業時にガス管を損傷した。
70	6/23	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管(80mm)を重機にて損傷し、併せてその際に供給管(80mm)が引っ張られ本管との接続箇所からもガスが流出したことを確認した。 原因は、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、敷地内に残置されていたガス管と誤認したことで、重機による掘削時にガス管を損傷したものの。
71	6/24	兵庫	衛生工事	都市ガス	0	消防より「コア抜き工事中破損」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管の破損によるガスの漏洩を確認した。 原因は、衛生設備(雨水)工事時、コアドリルにてコンクリート床の掘削作業中、誤って灯外内管(32mm垂鉛引き鋼管)の管体部を破損したと推定される。 なお、他工事業者からガス事業者への事前協議は無し。取り替え修繕を実施し、復旧完了。
72	6/25	大阪	下水工事	都市ガス	0	ガス事業者協力会社社員より「下水工事に伴うカッター切り中、ガス管を破損。」で受付けガス事業者が出動し、供給管(32mmポリエチレンライニング鋼管:不明管)の破損を確認した。 原因は、下水工事に伴うカッター切り中に不使用不明管(供給管)を破損したものと推定される。 不使用管につき、破損箇所上流側で切断・プラグ止めを行い、復旧完了。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
73	6/25	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者より「道路工事中にガス管破損」で受付けガス事業者が出動し調査の結果、供給管(32mm 塩化ビニルライニング鋼管)管体部での舗装カッターによる破損を確認した。 原因は、道路工事に伴う舗装カッター切りに供給管を破損したものの、なお、道路工事業者からの事前の協議はなし。 需要家不在により敷地内掘削ができないため破損箇所上流側(道路面)にて切断プラグ止めにて修繕完了。
74	6/29	東京	解体工事	都市ガス	1	警察から、工事中にガス管を損傷し着火した現場があるとの通報を受けガス事業者が出動したところ、水道工事業者の作業員が、当該建物への給水管改修工事に伴うアスファルト舗装を破砕中に、敷地内に埋設された灯外内管(白管: 40mm)を電動工具にて損傷させた際、流出したガスに着火したことで、火傷を負ったことを確認した。 原因は、作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わず、作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。
75	7/6	東京	その他(ボーリング掘削)	都市ガス	0	水道施工業者より薬液注入工事に伴う観測井戸の施工にあたり、ボーリング掘削にて直径約150mmのコア明け作業を実施中、ガス本支管(PE100A: 片ガス供給)を破損したものの。 施工にあたり水道工事業者よりガス事業者へガス管の有無についての事前照会・協議は、行われていたが、その後、水道工事業者において開削工事から推進工事への施工方法変更となった。しかし、ガス事業者への再協議・立ち合い依頼は行わず推進工事の前段階における薬液注入工事に伴う観測井戸の設置時において、ガス事業者への管理図調査や試験掘削を実施する事なくボーリング削孔を施工した事が原因で、低圧導管を破損したものの。また、本管バルブを閉止した事により、周辺需要家の供給支障が発生。破損部の管体入替工事完了。
76	7/7	東京	その他(土工)	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管(50mm)を重機にて損傷し、併せてその際に供給管(50mm)が引っ張られ本管との接続箇所からもガスが流出したことを確認した。 ガス事業者は、解体工事業者から建物の解体に伴い、ガス管切断作業の依頼を受け敷地境界近傍での切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が表示杭まで埋設されていることを周知していたが、解体工事業者の作業員は、作業範囲内にガスの通じているガス管はないものと思い、重機にて解体作業をしていたところ、ガス管を損傷したものの。
77	7/11	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、敷地内で樹木を伐採しているが、ガスのような臭いがするとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が当該敷地内の樹木伐採中に、埋設されていた灯外内管(25mm)を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、作業範囲内に、ガス管が埋設されているとは思わず、作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
78	7/13	埼玉県	切断作業	LPガス	0	2013年に降にオール電化により供給を停止していた一般住宅(集団供給)において、解体工事業者がの解体・整地作業を行った際、電動工具により埋設供給管を切断したところ、漏えいしたガスが電動工具の火花に引火し漏えい火災となった。当該物件はオール電化切替時に消費者の意向でガスメーターを撤去後宅内供給側配管を残した状態で閉止していたとのこと。 原因は、解体工事業者が電動工具により埋設供給管を損傷させたことによるものの。 なお、販売事業者は供給管の状況及び経路等を把握しておらず、また、消費者は事前確認の必要性も確認していなかったため、販売事業者への連絡もなく着火していたとのこと。

No	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
79	7/14	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該建物 1階空き店舗の改修工事に伴うコンクリート破砕中に、シンダー内に配管されていた灯外内管 (40mm) を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わず作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。また、引込管ガス遮断バルブを閉止したことで、当該建物内需要家4の供給支障が発生。
80	7/16	山梨県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が雨水排水配管工事のため掘削作業中、誤って埋設配管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、他工事業者が埋設配管の所在を確認せず作業を実施したことによるもの。 なお、販売事業者も埋設配管の所在を示す標識等の措置を実施していなかった。
81	7/16	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建築工事業者から「敷地内基礎工事中にガス管を破損。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管 (32mm ポリエチレンライニング銅管:不使用管) の破損を確認した。 原因は、建築工事業者が、敷地内基礎工事中にアースオーガーにて灯外内管を破損したものと推定される。 なお、建築工事業者から、事前協議はなし。 不使用管にて破損箇所上流側を切断プラグ止めし復旧完了。
82	7/21	愛知	建物改修・改装工事	都市ガス	0	マンション構内の店舗改修に伴う排水管設置工事にて、1階店舗コンクリート床部のカッター入れ作業時に、灯外内管を損傷したものの。 原因は、店舗改修会社がカッターを入れる場所にガス管が無いと思い込んで事前の照会を実施しないままカッター入れ作業を行ったため、ガス管の損傷に至ったもの。
83	7/25	千葉	下水工事	都市ガス	0	他工事施工者より下水道工事(推進工事)中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動。調査の結果、中圧管の損傷およびガスの漏出を確認した。 原因は、推進工事において、事前照会が必要との認識はあったものの、これを失念したまま施工した結果、推進機により中圧管を損傷したものの。
84	7/26	奈良県	リフォーム作業	LPガス	0	小学校において、建設工事業者がトイレのリフォーム工事中に誤ってカッターで埋設配管を切断し、漏えいが発生したものの。 なお、建設工事業者がリフォーム工事の際、図面で埋設配管の埋設位置確認をしていたが、埋設深さの調査は行っていないかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
85	7/28	千葉県	新築工事	LPガス	0	新築工事中の一般住宅(集団供給)において、他工事業者が作業中に重機でガス配管を引っ掛けたことにより、配管が損傷し、漏えいが発生した。近くにいた業者の知り合いのガス会社が応急処置を行い、その後販売事業者が修繕工事を行った。 原因は、他工事業者の作業中の不注意によるもの。
86	7/28	神奈川県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、消費者よりガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、容器が空になっていることを確認した。翌日、漏えい箇所を調査したところ、隣接する共同住宅の掘削現場の掘削場所にて、事故発生の共同住宅から隣接する共同住宅の敷地内に入っている埋設供給管より漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が隣接する共同住宅のコンクリート部分の掘削・撤去を行った際、誤って埋設供給管に接触し継手とのねじ部を損傷させたことによるもの。 なお、当該共同住宅と隣接する共同住宅は2017年7月から販売事業者が変わったが、供給開始時から供給設備が別に設けられており、また、コンクリートの下に供給管が埋設されていたため、供給管が隣接する共同住宅の敷地内に入っていることを把握していなかったとのこと。
87	7/29	大阪	解体工事	都市ガス	0	住民から「帰宅中に屋外(道路面)でガスの臭いが広範囲あり。」で受付け、ガス事業者が出動し調査の結果、付近の解体現場の敷地内にてガス臭気及び漏えいを確認した。また、供給管(80mm ポリエチレンライニング鋼管:不使用管)の継手抜けを確認した。 原因は、解体工事業者が、工事後の整地作業中にバックホウにて誤って敷地内よりガス管を引っ掛け、歩道面の供給管継手抜けが発生したものと推定される。 不使用管につき継手抜け箇所上流側でカップ止めを行い、復旧完了。
88	7/31	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が消費者宅の駐車場及び周辺道路の掘削作業を行った際、誤って埋設供給管2か所を損傷し、漏えいが発生した。水道工事業者より通報を受けた販売事業者が現場に出動し、応急措置を行った。 原因は、水道工事業者が販売事業者と事前打ち合わせを行ったものの、工事全体の把握及び工事場所の情報共有が不十分だったことによるもの。 なお、水道工事業者が作業前に行う危険予知訓練の実施が不十分だったとのこと。
89	8/4	京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、側溝カット済みと聞いていたがガス管を破損し火が着いた。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、ガス臭気があり、当該敷地内の破損箇所からの着火及び消防による放水消火活動を確認した。 原因は、解体工事業者が、建物コンクリート基礎撤去のため、敷地内でアイオンブレイカーにてコンクリートを研り中に、灯外内管(32mm 塩化ビニルライニング鋼管)を破損。漏えいしたガスにコンクリート研り時の鉄筋入り解体構造物の接触に伴う火花で着火したものと推定される。 破損箇所上流側で切断プラグ止めを行い修繕完了。
90	8/5	福島県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が敷地内の下水道工事に伴い浄化槽改修のため掘削作業を行った際、誤って建設機械により供給管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、水道工事業者が浄化槽近辺に供給管が埋設されていることを確認しないまま掘削作業を行ったことによるもの。 なお、集合住宅管理会社から工事に関する事前連絡がなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
91	8/5	長崎県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、販売事業者の集中監視システムにより圧力低下遮断の報告を受け、消費者に連絡し現場に出動したところ、埋設配管が破損し、マイコンメーターの安全装置作動によりガス遮断していることを確認した。また、メーターガス栓は現場作業員により閉止されていた。 原因は、電気工事業者が仮設電柱工事中に掘削用工具で手掘り作業を行っていたところ、誤って埋設配管に接触し、損傷させたとのこと。 なお、販売事業者は、消費者からの事前連絡を受け、消費者と現地立ち会いを行い埋設配管の位置確認を行っていたが、電気工事業者に埋設管の位置が十分に伝わっていなかったとのこと。また、埋設管標示シートの敷設が確認できなかったため、埋設配管の位置を誤り損傷させたとのこと。 (バルク貯槽 985kg×1基)
92	8/5	東京	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から、建物解体中の工事現場にてガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管(25mm)を重機にて引っ掛けた際に、供給管(25mm)が引っ張られ接続部が損傷したことを確認した。 ガス事業者は、建設工事業者から建物の解体に伴うガス管切断作業の依頼を受けたが、作業当日は当該建物の基礎があるため、敷地境界近傍での切断作業が不可につき、ガス管の途中切断位置とガス管ルート of 調査結果、及び敷地境界近傍での切詰作業を再度実施する必要があることを説明。基礎を解体する際には改めて連絡をするよう依頼したが、事前連絡がなく解体作業を行った結果、重機による基礎解体時にガス管を損傷したものの。
93	8/5	千葉	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	他工事施工者より、敷地内で植木の移設工事中に木製の支柱を抜いたところ、ガスが漏えいしたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、灯外内管の損壊および損壊部からの漏えいを確認した。 原因は、ガス管が埋設されているという認識がなく、事前照会を行わず支柱を打ち込んだためガス管を損壊し、今回の移設工事において支柱を抜いたことにより損壊部からガスが漏えいしたものの。
94	8/5	北海道	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防よりガス漏れ警戒の入電を受けガス事業者が出動。調査したところ灯内内管での損傷を確認した。 原因は、テナント改修工事に伴い給水工事業者がガス管の有無ならびに位置を確認することなく、電動丸ノコにて床の開口作業を行ったことにより、床下の灯内内管を損傷したものの。
95	8/10	茨城	その他(需要家)	都市ガス	0	消防から、ガス管が損傷された現場への出動要請を受けガス事業者が出動したところ、需要家が敷地内に埋設されていた灯外内管(ポリエチレン管: 30mm)を鍬にて損傷させ、ガスが漏出している状況を確認した。 原因は、需要家がガス管が埋設されているとは思わず鍬にて人工芝を敷設するため整地作業していたところ、灯外内管を損傷したものの。
96	8/10	福島	外構・門扉工事	都市ガス	0	現場隣(ガス供給無)の境界フェンス外構工事を請け負った建設会社がユンボで隣地との境界部分の掘削を始めた所、隣地(空地)に敷設していた灯外内管(25A)を誤って損傷したと消防からの連絡でガス事業者が出動。ガス漏れを確認・応急措置を実施した。 原因は、外構工事を実施した需要家はオール電化住宅。また今回の該当地点は空地とガスの使用は無かった為、ガス管敷設の認識が薄く重機での掘削工事を実施し、配管損傷に至ったものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
97	8/11	福岡県	穿孔調査 作業	LPガス	0	共同住宅において、白アリ駆除工事業者が地盤穿孔調査作業を行っている際、誤って穿孔ドリルで埋設供給管を貫通させ漏えいが発生した。連絡を受けた販売事業者が現場へ到着し、破損部分の確認及び中間ガス栓の閉止等修繕作業を行った。 なお、白アリ駆除工事業者より事前連絡及び埋設供給管の位置確認等を行わなかったとのこと。
98	8/12	大阪	電柱設 置工事	都市ガス	0	電気工事業者より「電柱建て替え工事に伴いアースオーガーにて掘削中ガス管を破損。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、閉栓需要家宅の供給管(25mmポリエチレンライニング管)取出し(バルブチー)ねじ部の折損を確認した。 原因は、電気事業者によると協議済みであったが、ガス管の位置確認を怠り誤ってガス管を破損したものの。 支管50mm 取出し部にてプラグ止めを行い修繕完了。
99	8/16	東京	建物改 修・改装 工事	都市ガス	0	消防から、ガス管が損傷されたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、改修工事業者の作業員が当該建物1階床下の汚水処理に伴う床コンクリートのコア抜き作業中、埋設されていた灯外内管(被覆鋼管:32mm)を損傷したことを確認した。 原因は、作業範囲内には、ガス管が埋設されているとは思わず、ガス事業者にもガス管有無等の確認をせず作業した結果、電動工具にて灯外内管を損傷したものの。
100	8/18	栃木県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、看板施工業者より工事中に埋設供給管を損傷させた旨の通報を受けた消防が警察と共に現場へ出動し、漏えい箇所の処置及び周辺道路の交通規制を行った。その後、当該建物のオーナーより連絡を受けた販売事業者が委託先保安機関と共に現場に到着し、ガス供給が停止されていることと埋設供給管の損傷を確認した。 原因は、看板施工業者が看板支柱のため掘削作業を行った際、誤って掘削機により埋設供給管に接触し損傷させたことによるもの。なお、看板施工業者はオーナーと工事について事前協議をしており、埋設供給管についても図面で確認を行っていたが、図面に記載されていた埋設供給管の位置が実際の現場とずれがあったとのこと。また、埋設供給管敷設位置には埋設シートが敷設されていなかったとのこと。 (バルク貯槽 980kg×1基)
101	8/18	和歌山県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、下水工事業者が道路面を重機で掘削中、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。販売事業者が現場に出動し、下水工事業者の応急措置により漏えいが止まっていることを確認した。 なお、販売事業者は、事前協議及び試掘の際に立ち会いは行ったが、配管の正確な埋設位置が不明であったため、慎重に作業を実施するよう指示したとのこと。また、当日は下水工事業者から工事実施時における連絡が無く、販売事業者は立ち会いを行わなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
102	8/18	栃木	外構・門 扉工事	都市ガス	0	外構工事事業者が需要家宅の駐車場拡張工事を行っている際に、油 圧ショベルで埋設ガス管をひっかけてしまい、灯外内管立ち上がり管の 継手部(白エルボ 25 A)を損傷しガスが漏れ出した。 原因は、外構工事事業者が事前に需要家との打合せを行った際に、埋設 物の有無についての確認を怠り、埋設物有無の確認がないまま掘削を 行ったため、灯外内管を損傷したものの。
103	8/21	大阪	解体工 事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、ガス管破損噴出中。」で受付け、ガス 事業者が出動したところ灯外内管(32mm亜鉛引き鋼管:架空・不使用 管)ねじ継手の破損を確認した。 原因は、解体工事業者がつかみ機(フォークロー)にて建物解体中、 建物内の灯外内管ねじ部を誤って破損したものの。 なお、解体工事業者から、事前協議なし。 不使用管につき破損箇所上流側を切断プラグ止めし復旧完了。
104	8/22	大阪	建物改 修・改装 工事	都市ガス	0	需要家から「店舗内改装工事中に、ガスの臭気がする。」で受付け、ガス 事業者が出動したところ、灯外内管(40mm塩化ビニルライニング鋼 管:不使用管)管体部の破損を確認した。 原因は、増改築工事業者が1階店舗改装工事時、電動チッパーにて土 間コンクリートをはつり作業中に、灯外内管を誤って破損したものと推 定される。 なお、増改築工事業者から、事前協議はなし。 不使用管につき破損箇所上流側を切断プラグ止めし復旧完了。
105	8/26	東京	水道工 事	都市ガス	1	水道工事業者から、水道管と間違えてガス管を損傷させたとの通報を 受けガス事業者が出動したところ、水道工事業者の作業員が当該建物 1階パイプシャフト内での漏水工事に伴うバイパス作業中、水道管と並 列に配管された灯外内管(白管:32mm)を電動工具にて損傷したことを 確認した。 原因は、パイプシャフト内に並列に配管されていた管はどちらも水道管 と思い込みガス事業者に照会なく作業した結果、灯外内管を電動工具 にて損傷したものの。
106	8/28	東京	解体工 事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事 業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、敷地内のコンクリ ート基礎破砕時において、埋設されていた灯外内管(白管:40mm)を重 機にて損傷したことを確認した。 ガス事業者は、解体工事業者から建物解体に伴うガス管切断作業の依 頼を受けたが、作業当日は建物の基礎があるため、敷地境界近傍での 切断作業が不可につき、途中切断したガス管の位置、及び敷地境界近 傍での切詰作業を再度実施する必要があることを説明。基礎を解体す る際には事前に連絡をするよう依頼したが、解体工事業者内の引継ぎ が適切になされていなかったことから、ガス事業者にガス管の撤去依頼 を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。

No	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
107	8/29	千葉県	新築工事 作業	LPガス	0	一般住宅(集団供給)において、他工事業者が新築工事作業中に、誤って重機で埋設供給管を損傷させ、漏えいが発生した。 原因は、他工事業者の作業中の不注意によるもの。
108	8/31	神奈川県	解体作業	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者がバルク貯槽周囲の囲いを撤去しようとした際、固定していた供給管に引っ掛かり、調整器の根本から折損し漏えいが発生した。他工事業者の通報を受けた消防より連絡を受けた他のガス事業者が現場に出動し、バルク貯槽のガス取出し弁を閉止し、漏えいを停止させた。その後、到着した販売事業者が、折損した調整器部から建物引込部までの供給管を撤去し、バルク貯槽に新たな調整器を取付け、出口でプラグ止めし漏えいがないことを確認した。 なお、当該建物のバルク貯槽は、昨年11月末の前入居者退去後に一旦閉栓処理を実施したが、遠からず次の入居者が発生することを見込んで、撤去せず設置を継続していたとのこと。 原因は、他工事業者がバルク貯槽の囲いを解体中供給管を引っ掛け、調整器を根本より破損したことによるもの。 なお、他工事業者より販売事業者に事前連絡がなかったとのこと。 (バルク貯槽 150kg×1基)
109	9/1	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管(32mm)を重機にて損傷、併せてその際に供給管(30mm)が引っ張られたことでガスが流出したことを確認した。 原因は、敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていること及びガス管表示杭を認識していたものの、作業範囲内にはガス管がないだろうと重機で作業した結果、ガス管を損傷したものの。
110	9/3	大阪	水道工事	都市ガス	1	消防より、「水道工事中、ガス管を破損し、着火した。現在は消火した。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、水道業者が掘削機(バックホー)にて供給管(30mm ポリエチレン管)破損したことを確認した。また、消防より、水道業者の作業員1名が負傷し病院へ搬送したことを確認した。 原因は、水道入替えに伴う試験掘り作業中、掘削機(バックホー)にて供給管を破損し、付近にあった発電機が着火源となり、着火に至ったものと推定される。破損箇所を取換え復旧完了。
111	9/9	神奈川	下水工事	都市ガス	1	下水道工事業者より、下水道取付管更新工事中にガス管を破損し着火したとの通報を受けガス事業者が出動。現地確認したところ、掘削機にて低圧供給管を損傷したのち、ガス漏出箇所付近でハンマードリルの電源を入れた際に着火し、作業員1名が負傷したもの。 原因は、事前協議ではガス管近傍は手掘りによる先掘りを行うように協議をおこなっていたが、実際には先掘りを行わず機械掘削を行い、低圧供給管を損傷したもの。一部取替にて修理完了。
112	9/15	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建物の基礎を解体中に、灯外内管(30mm)を重機にて引っ掛け、供給管(30mm)が引っ張られたことで接続部が損傷し、ガスが流出していることを確認した。 解体工事業者の作業員は、実施済の敷地境界近傍でのガス管切断について、切断位置を表示杭により認識していたが、埋設位置情報を適切に共有していなかったこと、及び重機作業範囲よりも深い位置に埋設されていると思い込んで作業した結果、ガス管を損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
113	9/16	群馬県	非該当	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が下水工事のため、バックホウで掘削作業を行った際、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。 なお、水道工事業者は販売事業者と事前打ち合わせを行っていたが、埋設供給管の位置の記録が不正確であった。また、販売事業者が到着前に作業を開始したとのこと。
114	9/18	岐阜	その他改修工事	都市ガス	0	ガス供給業者が切替わり、ガス小売事業の未供給地点である宅地内で、設備業者が雨除け屋根の延長工事時にコンクリートカッターで未使用の埋設ガス管を損傷したもの。なお、ガス事業者担当が現場に到着した時は、まだガス漏れ臭がしていた事から、特定製造所の元バルブを閉めてガス供給を停止した。 原因は、住宅わき通路のコンクリート舗装部を、コンクリートカッターで切断中に埋設ガス管を切ったことによる。
115	9/19	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体工事時にバックホウがガス管に当たり、ガス臭気がある。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、ガス管破損によるガス噴出を確認したため、支管(50mm アスファルトジュート巻銅管)の破損箇所よりガスバックを挿入し応急措置を実施した。 原因は、解体工事業者が家屋解体時に支管をバックホウで破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議はなし。破損箇所をポリエチレンライニング銅管材料にてプラグ止めし復旧完了。
116	9/19	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を破損。粘土で手当てするもガス臭気あり。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、臭気あり。掘削機(バックホウ)による灯外内管(50mm アスファルトジュート巻銅管: 不使用不明管)の管体部破損を確認した。 原因は、解体工事業者が掘削機(バックホウ)にて建物解体中、灯外内管を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議はなし。不使用管につき供給管部分にて切断プラグ止めを行い、復旧完了。
117	9/24	神奈川	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建物解体に伴う重機作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管(25mm)を損傷し、併せて供給管(25mm)接続部が引っ張られたことでガスが流出したことを確認した。 解体工事業者の作業員は敷地境界近傍でのガス管切断の実施内容を知らされており、作業範囲内にはガスの通じているガス管はないと思い重機にて作業していたところ、ガス事業者が把握していないガス管が埋設されており、これを損傷したもの。
118	9/24	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	消防より「他工事業者が水路転落防止柵設置の為、道路をコア抜き作業中にガス管を破損した。」で受付けガス事業者が出動したところ、供給管(32mm 亜鉛引き鋼管)継手部の破損を確認した。 原因は、当該他工事業者がコアドリルにて道路をコア抜き作業中に、供給管を誤って破損したものと推定される。 なお、柵設置工事業者からは事前の協議はなし。破損箇所を金属テープシール巻きにて復旧完了。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
119	9/26	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中に臭気あり。バックホウで作業中にガス管を破損したかどうかはわからない。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、ガス臭気及び噴出音を確認。灯外内管(25mm アスファルトジュート巻鋼管:不使用不明管)破損箇所からガスバック挿入にてガスを遮断し、応急措置を実施。 原因は、解体工事業者が、掘削機(バックホウ)にて建物解体中、灯外内管を破損したものと推定される。 不使用管につき支管面でプラグ止めを行い復旧完了。
120	9/30	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	消防より「外構工事業者から工事中にガス臭気ありと入電あり消防出動中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管(32mm 塩化ビニルライニング鋼管)の破損及び消防の粘土による応急措置を確認した。 原因は、外構工事業者が屋外手すり設置工事時、コア(65mm)抜き作業中にコンクリート巻き灯外内管の直管部を誤って破損したものと推定される。 なお、外構工事業者から、事前協議はなし。供給管取出し部にてプラグ止めし修繕完了。
121	9/30	大阪	駐車場等工事	都市ガス	0	消防より「需要家から駐車場設置工事時に、電動サンダーでガス管を破損したとの入電あり、消防出動中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ灯外内管(25mm 亜鉛引き鋼管:架空:不使用管)の管体部の破損を確認した。 原因は、需要家がガスメーターが設置されていないので、ガスが流れていないと思い込み、灯外内管の管体を電動サンダーで切断したものと推定される。 なお、需要家から事前協議などの連絡はなし。破損箇所の上流側にてプラグ止めを実施し復旧完了。
122	10/3	埼玉	下水工事	都市ガス	0	下水道工事の施工者より、ガス管を損傷したという通報を受けガス事業者が出動。調査を行ったところ、低圧支管がボーリングロッドにより損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 原因は、薬液注入のためのボーリング施工範囲にガス管が埋設されていないものと判断して施工した結果、低圧支管を損傷したものの。
123	10/5	岐阜県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が下水道の交換作業を行った際、誤って重機で埋設配管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、水道工事業者の埋設配管の確認不足によるもの。
124	10/6	東京	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者の作業員から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該建物擁壁を解体中、敷地内に埋設されていた灯外内管(30mm)を重機にて引っ掛けた際に損傷させ、また引っ張られた供給管(30mm)の接続部からガスが漏出したことを確認した。 原因は、当該建物の擁壁を解体する作業範囲内にガス管はないものと思い重機で作業したところ、ガス管を損傷した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
125	10/12	埼玉県	穴開け作業	LPガス	0	一般住宅において、造園業者より作業中に埋設配管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者がメーターガス栓、容器バルブの閉止及びガス漏れ付近から退避するように指示し、現場に出動した。現場で配管の損傷部を確認し、消費者に現状報告と復旧工事を行う旨を説明し、復旧工事を実施した。原因は、造園業者の不注意によるもの。
126	10/13	島根県	解体作業	LPガス	0	一般住宅の空家において、近隣住民より当該空家周辺からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、供給管及びガスメーターが破損し、解体現場に投棄されていることを確認した。原因は、当該空家は集団供給をしている10戸のうちの1戸であり、周囲に容器が設置されていなかったため、解体工事業者が解体に際して販売事業者への連絡が必要ないと誤認し、作業を進めたことによるもの。なお、当該空家は借家で元居住者は既に死亡していたため、販売事業者は所有者を把握しておらず、住宅工事等によるガス事故防止の周知が行き届いていなかったとのこと。
127	10/13	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該建物の解体に伴い、ブロック基礎を破砕中にブロック基礎内に配管されていた灯外内管(ポリエチレン管: 25mm)を重機にて引っ掛けて損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者の作業員が、当該敷地内にガスの通じたガス管が埋設されていることを認識していたものの、ブロック基礎の下に埋設されているものと思い込んでいたため、ガス事業者によるガス管経路等の照会を行うことなく作業した結果、ブロック基礎内に配管されていた灯外内管を重機にて損傷したものの。
128	10/14	埼玉	その他(排水管)	都市ガス	0	他工事業者より排水管工事中にコンクリートカッターでガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動。調査の結果、当該集合住宅の共用内管の損傷と判明。原因は、作業範囲内にガス管はないと思い、ガス事業者によるガス管の位置確認等事前照会を行うことなく作業した結果、コンクリートカッターにてガス管を損傷したものの。
129	10/18	福島	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	造園土木業者が敷地の駐車場コンクリート舗装を破壊した際、ガス臭が立ち込めたとの通報をガス事業者が受け出動したところ、現場の状況から、重機使用による、引き込み管の破損と判断された。原因は、造園土木業者が工事範囲にガス管が無いと思い込み、ガス事業者への事前照会なく重機で庭の整地を行った為。なお、破損箇所を特定するため、ガス臭のするコンクリート舗装を、防爆型送風機でガスを拡散させて掘削、復旧作業しようとした。しかし消防より郡山でのガス爆発事故(2020年7月30日、発生)の例があるため、ガスを停止して作業するよう強く要請され、また当該場所への立入も制止されたとのこと。
130	10/19	岡山	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者より、車庫の土間コンクリートをコンクリートカッターにて切断作業中に、ガス管を破損・着火したとの通報を受けガス事業者が出動し、破損箇所の確認し、他工事の影響範囲外の上流側にてガス管切離し措置を実施した。原因は、他工事業者が、敷地内にガス管があることは認識していたが、工事範囲にガス管はないと思い込み、ガス事業者によるガス管の位置を確認せずにカッターによる切断作業を行ったためガス管を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
131	10/20	神奈川県	解体作業	LPガス	0	住居兼店舗において、解体工事業者が建物の解体工事中に、杭打ち及び重機により埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、解体工事業者の埋設供給管の位置確認不足によるもの。
132	10/27	佐賀県	外構工事	LPガス	0	飲食店において、物件オーナーより、他工事業者が外構工事中に誤って埋設配管を損傷させた旨の連絡を販売事業者が受け、現場に出動したところ、埋設配管に穴が開いていることを確認した。また、マイコンメーターによる緊急遮断機能の作動により漏えいが停止していたとのこと。 原因は、他工事業者が埋設配管の存在に気付かず埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、他工事業者より販売事業者に事前連絡が行われなかったとのこと。
133	10/27	埼玉県	掘削作業及び切断作業	LPガス	0	一般住宅(集団供給)において、下水道工事業者が消費者宅の下水道の切替作業の際、削岩機によりコンクリート打設部の撤去作業を行ったところ、埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。また、漏えいに気付かないまま作業を続け、鉄筋の切断に電動切断機を使用したため、漏えいしていたガスに引火し漏えい火災となった。通報を受けた販売事業者が現場に出動し、供給設備の閉栓及び漏えい箇所の確認を行い、復旧作業を実施した。 原因は、下水道工事業者が埋設供給管の位置や埋設深さ等の事前確認を怠ったことによるもの。 なお、販売事業者に水道工事業者又は消費者より事前連絡がなかったとのこと。
134	10/27	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「バックホーにてガスを破損した。土を被せている。」で受付け、ガス事業者が出動。道路面を掘削し、供給管(25mmアスファルトジュート巻鋼管:不使用不明管)ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、解体工事後の整地作業中に、掘削機(バックホー)にて供給管ねじ継手部を破損したものと推定される。 不使用管につき本管面(取出し部)でプラグ止めを行い復旧完了。
135	10/28	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事を行っていた作業員が、隣接の敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ張り損傷させ、その際に供給管も引っ張られたことで損傷しガスが漏出したことを確認した。 原因は、解体工事を行っていた作業員が施主から解体現場に残された不要な配管を撤去するように指示されていたことで、その配管が隣接の当該建物へ供給されていたガスの通じたガス管とは思わなかったため、ガス事業者に照会することなく撤去しようとした結果、重機にて灯外内管及び供給管を損傷したものの。
136	10/30	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該建物の解体作業中に、埋設されていた灯外内管(白管:32mm)を重機にて損傷したことを確認した。 ガス事業者は、解体工事業者より建物解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行い、その切断位置及びガスの通じたガス管が敷地内に埋設されていることの周知を行った。 原因は、解体工事業者の作業員が、ガス管切断位置等について周知されていたことから、作業範囲内にはガスの通じているガス管はないと思い重機にて作業していたところ、ガス管を損傷したものの。 なお、損傷されたガス管については図面や工事の履歴がなく、ガス事業者は当該敷地内でのガス管切断作業の際に、情報を把握することができなかった。 (末照会工事)

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
137	10/30	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	建設工事業者の作業員から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、当該敷地内の整地作業中に埋設されていた灯外内管(25mm)を重機にて引っ掛けて損傷させ、その際に引っ張られた供給管(25mm)の接続部からガスが漏出したことを確認した。 原因は、建設工事業者の作業員が、当該敷地が元は公園だったこと、また、ガス管表示シールや表示杭も見受けられなかったため、整地作業範囲内にガス管はないものと思い、重機で作業していたところ、ガス管を損傷したもの。
138	11/4	滋賀	外構・門扉工事	都市ガス	0	敷地内他工事において灯外内管(25A)を損傷したもの。 原因は、外溝工事業者が玄関前の屋外コンクリート部に介添え用すり(支柱)を設置する際に、コア抜きドリルにより灯外内管を損傷したことによる。
139	11/10	鳥取	建物改修・改装工事	都市ガス	1	改装中店舗において、水道設備業者が床コンクリートをロードカッターで切断時に埋設ガス管(灯外内管:被覆鋼管25mm、深さ0.1m)を折損したもの。 原因は、水道設備業者が店舗内(閉栓中、メーター残置)において都市ガス配管の照会を行わないままロードカッターで床コンクリートを切断した。その際、埋設配管を切断し、ガスが漏洩した。ガスの漏洩を止めようとした水道設備業者作業員が付近を研ったことにより着火したと想定される。 なお、着火により、改装中店舗壁面を幅 1.3m、高さ 2mにわたり焼損。作業員 1名も軽度の火傷を負った。
140	11/12	奈良県	解体作業	LPガス	0	閉栓中の元飲食店において、解体工事業者が作業中、誤って重機でバルク貯槽を損傷させた。都市ガス業者より連絡を受けた販売事業者が現場に出動しバルク貯槽内の液体ガスの回収及び残ガスの処理を行った。なお、メーカーにより安全弁本弁一式を取り外し、破損箇所の検証を行ったところ、安全弁本弁フランジ接続面ガスケット変形とガス取出弁と本体接続部とのOリングが重機による解体時の衝撃等で変形し漏えいが発生したと推定される。 原因は、解体工事業者によるバルク貯槽附属品の損傷によるもの。 なお、当該店舗の解体時には旧消費者から建物所有者へ工事の時は販売事業者への事前連絡が必要である旨を伝えてなかったとのこと。また、店舗所有者及び旧消費者はバルク貯槽の存在を認識していなかったとのこと。販売事業者としては、バルク貯槽等に連絡先の記載をしていたが、解体時事前連絡が必要である旨の表記はしていないとのこと。さらに、販売事業者は旧消費者へ解体時の事前連絡要請を実施していたが、建物所有者へ直接要請はしていなかったとのこと。
141	11/18	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から、ガス管損傷現場への出動要請通報を受けガス事業者が出動したところ、当該店舗入口の扉の改修工事をしていた作業員が、コンクリート内に配管されていた灯外内管(被覆鋼管: 25mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、作業員が、当該店舗の内装工事に伴い入口の扉を改修工事する際、作業範囲内にガス管が配管されているとは思わなかった為、ガス事業者に照会を行うことなく作業した結果、電動工具で損傷したもの。
142	11/25	滋賀	外構・門扉工事	都市ガス	0	外溝工事業者より敷地内整地中、敷地入口付近を重機(バックホウ)により掘削していた最中に、ガス臭がしたとの通報を受けガス事業者が出動。 調査の結果、灯外内管(白管 25mm)ねじ継手部の破損と判明した。 原因は、外溝工事業者がガス管の位置を確認することなく、重機(バックホウ)にて掘削したことにより、コンクリートに巻かれていた鞘管に入っていた灯外内管のねじ継手部が破損したもの。 なお、ガス事業者への事前照会はなし。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
143	11/28	広島県	下水道改修工事	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が下水道改修工事中に誤って埋設配管をコンクリートカッターで切断し、漏えいが発生したため、容器バルブを閉止し、販売事業者に連絡をした。販売事業者が到着後、露出部にプラグ止めを行い、ガス供給を再開した。 なお、他工事業者が販売事業者と事前打ち合わせを行わなかったとのこと。
144	11/28	福岡県	下水道掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、販売事業者が集中監視システムより流量式微小漏えい警告(B)を受信し、現場に出動したところ、供給側からの漏えいを確認できなかったため、仮供給手配を行った。翌日が休日であるため、翌々日に工事監督立ち合いの下、埋設部の調査を実施したところ、供給管継手部より漏えいを確認し、修繕作業を行った。 原因は、他工事業者が下水道工事の掘削作業中に誤って重機で埋設供給管を損傷したことによるもの。
145	11/30	京都府	剪定作業	LPガス	0	一般住宅において、植木業者が植木の剪定中、誤って高圧ホース1本を切断し、直ちに容器バルブを閉め漏えいを停止させた。消費者より連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、高圧ホースと容器バルブの状態を確認し、高圧ホースの交換及び他の漏えいがないことを確認し、ガス供給を再開した。 原因は、植木業者の作業ミスによるもの。 なお、植木業者にガス設備の位置等が伝わっていなかったとのこと。
146	11/30	福島	解体工事	都市ガス	0	当該建物の解体工事中に、エンジンカッターで通ガス中の灯外内管を切断したため、エンジンカッターから発生した火花が漏出したガスに引火し解体工事中の建物の壁を損傷したもの。 原因は、解体工事の作業員が、ガスは止まっていると思い込み、作業範囲にあった配管がたとえガス管であっても切断して問題ないとの認識で、ガス管であることを確認せずにエンジンカッターでガス管を切断し、エンジンカッターから発生した火花が漏出したガスに引火し火災に至ったと推定される。 なお、解体工事の実施およびガス管の有無についてガス事業者への事前照会はなかった。
147	12/1	宮城県	切断作業	LPガス	0	事務所において、空調設備工事業者が1階天井付近の庁舎内冷暖房用の水配管を工具で切断する工事中、誤って工事箇所付近のガス配管を切断してしまい、漏えいが発生した。ガス警報器連動にて漏えいが遮断された。また、空調設備工事業者がすぐに損傷箇所をビニールテープで巻き、漏えいを止めるとともに、ガス元栓を閉めた。 原因は、空調設備工事業者がガス配管を誤って損傷させたことによるもの。 なお、消費者が空調設備工事業者と事前に協議を行い、切断すべき配管に印をつけていたが、空調設備工事業者が切断直前に印をつけた保冷保温材をはがしてしまったため、ガス管を見誤ったとのこと。
148	12/3	和歌山県	地中削り作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が水道配管工事のため、地中削り作業中に埋設供給管を損傷し漏えいが発生した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
149	12/3	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	改修工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、改修工事業者の作業員が、当該建物地下1階天井部の防水工事に伴い、天井部のコンクリートを電動工具にて穿孔した際に、灯外内管(白管:40mm)を損傷したことを確認した。 原因は、改装工事業者の作業員が、当該建物1階及び地下の天井に露出配管されていたガス管の位置や経路を想定した上で、防水工事を行う地下1階の天井コンクリート内にはガス管が配管されていないだろうと思い込み、ガス事業者に位置確認等の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。
150	12/3	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「整地工事中、掘削機(バックホー)にてガス管を破損した。ガス噴出中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管(25mm 塩化ビニルライニング鋼管:不使用管)ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、整地作業中、掘削機(バックホー)にて灯外内管を引っ掛け、ねじ継手部を破損したものと推定される。 なお、整地工事業者から、事前協議はなし。 破損箇所上流側の不使用管につき供給管を切断プラグ止めし、復旧完了。
151	12/3	兵庫	解体工事	都市ガス	0	警察から「マンション前道路付近で臭気する」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管(25mm アスファルトジュート巻き鋼管)の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が解体工事にバックホーにて擁壁を倒し誤って灯外内管を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議はなし。 破損箇所上流側でプラグ止めし復旧完了。
152	12/3	福井	駐車場等工事	都市ガス	0	敷地内他工事において灯外内管を重機で破損したものの。 原因は、カーポートを施工する業者が住宅敷地内埋設ガス管を重機で破損させたことによる。
153	12/4	千葉	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者の作業員から、解体工事現場にてガス管を破損したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該建物解体に伴う擁壁撤去作業の際、当該敷地内に埋設されていた灯外内管(25mm)を重機にて引っ掛け損傷し、また、その時に引っ張られた供給管(25mm)の接続部からガスが漏出したことを確認した。 ガス事業者は解体工事業者より建物解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行い、その切断位置及びガスの通じたガス管が敷地内に埋設されていることの周知を行ったとのこと。 原因は、解体工事業者の作業員が、ガス管切断位置等について周知・説明されていたことから、擁壁撤去作業の範囲内にはガスの通じているガス管はないと思い、重機にて作業していたところ、ガス管を損傷した。 なお、損傷されたガス管については図面や工事の履歴がなく、ガス事業者は当該敷地内でのガス管切断作業の際に、情報を把握することができなかったとのこと。
154	12/4	兵庫	水道工事	都市ガス	0	水道工事に立会っていた工事業者からガス管を破損したとの通報でガス事業者が出動し、掘削機で埋設部分の引抜かれた箇所の応急措置を実施した。 また、掘削による調査の結果、供給管の取出し部分が損傷していることが判明し、本復旧処理を実施した。 原因は、水道工事業者が掘削機にて供給管(プラスチック被覆鋼管32A)を破損させたものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
155	12/4	鳥取	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者の作業員が当該建物の2F天井近くにある灯外内管(SGP20A)をサンダーで切断したところ、ガス管内からガスが噴出して着火(直ちに消火器にて消火)との通報を受けガス事業者が出動。切断箇所を確認したところ、ガスの噴出があったため、噴出箇所をマスティックテープで応急処置。その後に2Fで当該系統の上流部分(SGP32A)をプラグ止めの措置を実施した。 原因は、解体業者が施主からガスが止まっていると聞き、ガスが建物境界で止まっていると思い込み解体作業を行った。しかし、実際には建物内のメーターガス栓でガスが止まっていたため、灯外内管を切断した際にガスが噴出して火災事故が発生したものの。
156	12/5	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から、外構工事中にガス管を損傷し着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該現場の敷地内において着火事象を確認し消火器により消火措置を実施した。また、灯外内管(ポリエチレン管: 25mm) 溶融箇所からガスが漏出していることを確認した。 原因は、建設工事業者の作業員が、当該敷地内の表示杭を確認しておりガス管が埋設されていることは認識していたが、埋設深さまでは意識せずにガス事業者へガス管位地等の紹介を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷し着火したものの。 なお、外構工事に伴うH鋼打ち込み後に、鉄骨をバーナー似て用いた際、何らかの原因で灯外内管に穴を開け、そこから漏出したガスに引火したものと推測される。
157	12/8	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物躯体解体工事中、重機にてガス管を破損した。」で受け、ガス事業者が出動したところ、ガス噴出を確認。引込み管遮断バルブを閉止し応急措置実施。調査の結果、灯外内管(100mm 亜鉛引き鋼管: 架空)ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、事前協議で確認した施工日の前日に、解体工事業者が解体工事を実施し、はさみ機にて灯外内管を引っ掛け、ねじ継手部を破損したものと推定される。 破損箇所上流側で、プラグ止め実施し復旧完了。
158	12/8	広島	下水工事	都市ガス	0	下水道工事会社より、工事現場がガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動したところ、削孔ボーリング施工時にガス管(ポリエチレン100mm)を破損していることを確認した。 原因は、推進用立坑の構築位置は、広島ガス立会いのもと試掘をして埋設ガス管の位置を確認していたが、観測孔(ボーリング孔)の削孔位置はガス管位置を推測して計画し、更に事前協議及び試掘立会いを実施せず削孔ボーリングを施工したため。 なお、ガス管破損箇所周辺を掘削してテープ巻きにて応急措置を実施したが、管内に水及び土砂が流入していることを確認したため、ガス管破損箇所を切断して流入した異物除去作業を実施するとともに、圧力低下した範囲のお客さまの保安閉栓を12時34分より開始し、18時58分に全てのお客さまの開栓を完了し復旧した。 ガス事業者への事前照会はなし。
159	12/12	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	需要家から、業者が敷地内にて塀を作っていた際に、火がついたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建築工事業者の作業員が、当該建物のフェンス改修工事に伴うコンクリートコア抜き作業中に、敷地内に埋設されていた灯外内管(ポリエチレン管: 30mm)を損傷したことを確認した。また、その際に漏出したガスに着火したことで需要家の既設フェンスが一部焼損したものの。 原因は、建築工事業者の作業員が、フェンスを設置する作業範囲内にはガス管が埋設しているとは思わず、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。 なお、その際、電動工具を用いたコア抜き作業にて発生した火花が着火源となり、損傷したガス管から漏出したガスに着火したものと推測される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
160	12/13	兵庫	その他 (需要家)	都市ガス	0	需要家より「自宅庭でテスを使用してはつり作業中にガス管を破損した。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管(30mmポリエチレン管)の破損を確認した。 原因は、需要家が自宅庭でテスにてはつり作業中に誤って灯外内管を破損したものと推定される。 なお、需要家から事前協議はなし。破損箇所を取替え修繕し復旧完了。
161	12/14	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を切断した際に着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該現場の建物解体作業に伴い、ガス管(灯外内管:被覆鋼管50mm)を電動工具にて切断中に着火したこと、及び消火器にて消火したことを確認した。 原因は、解体工事業者の作業員が、当該建物の解体作業に伴う養生板を設置する際に、ガス管が支障となることから、電動工具にてガス管を切断していたところ、着火したものの、 なお、作業員によると当該建物は電気及び水道の縁切り作業が完了していることを確認していたため、ガス管も切断されていると思い込んでいたとのこと。 また、消防によると灯外内管を電動工具にて切断した際に発生した火花が着火源となり、そこから漏出したガスに着火したものと推測されるとのこと。
162	12/14	大阪	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者より「光センサー設備架空配管の工事に伴い3階の廊下貫通時に、ガス管を破損。」で受付け、ガス事業者が出動。ガス噴出音を確認し、引込み管遮断バルブを閉止し応急措置を実施した。 原因は、光ファイバーのさや管設置作業中、4階から3階へコンクリートコア抜き作業時に、3階天井裏架空配管灯外内管の管体部を破損したものと推定される。 なお、当該電気工事業者から事前協議はなし。当該灯外内管の破損箇所を取替え修繕完了。
163	12/14	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、掘削機(バックホー)にてガス管を破損。粘土詰めています。」で受付け、ガス事業者が出動。灯外内管(32mm塩化ビニルライニング銅管:不使用管)継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事時、掘削機(バックホー)により灯外内管及び供給管(側溝カット済みで杭にて位置を表示している不使用管)の継手部を破損したものと推定される。 不使用管につき供給管を切断・キャップ止めし復旧完了。
164	12/17	神奈川	防草シート設置作業	LPガス	0	一般住宅において、緊急時連絡委託先より販売事業者へ連絡があり、販売事業者が現場に出動したところ、埋設配管より漏えいを確認したため、消費者に埋設箇所改善までガスの使用中止を要請した。 原因は、造園業者より防草シート設置作業の際にシート止め金具が配管に接触し漏えいが発生したものの、 なお、造園業者から施工の事前連絡がなかったため、販売事業者の立ち合い及び配管ルートの確認ができなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
165	12/21	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、ガスを破損した。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、掘削機(バックホー)にて灯外内管(25mm 塩化ビニルライニング鋼管)の破損を確認した。 原因は、解体工事中に掘削機(バックホー)にて灯外内管(不使用管)を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議は無し。不使用管につき取出し部にプラグ止めを実施し復旧完了。
166	12/22	東京	その他(需要家)	都市ガス	0	近隣住民から、玄関を開けて外に出るとガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動し調査したところ、通報宅隣家の敷地内に埋設されていた灯外内管(ポリエチレン管: 30mm)に損傷があり、そこからガスが漏出していることを確認した。 原因は、当該需要家が、敷地内の庭部分に人工芝を設置する際、ガスパイプが埋設されている認識はあったものの、人工芝を固定するピン(長さ(深さ)まではないだろうと思い、ガス事業者へガスパイプ位置等の照会を行うことなく作業した結果、人工芝固定ピンにて灯外内管を損傷したものの。
167	12/23	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガスパイプを損傷し着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が当該建物1階の改修工事に伴う電動工具によるコンクリート研り中、灯外内管(被覆鋼管: 50mm)を損傷した際に着火し、消火器にて消火措置済であることを確認した。 原因は、工事業者の作業員が、改修する店舗のガスメーターが閉栓中であり、またガスメーター上流側のガスパイプは屋内に配管されていると思わなかったため、ガスの通じたガスパイプはないと思い、ガス事業者へガスパイプの有無等の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガスパイプを損傷したもので、その際、電動工具によるコンクリート研り中に発生した火花が着火源となり、そこから漏出したガスに引火したものと推測される。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1	1/4	滋賀	水道工事	LPガス(簡易)	0	水道工事業者がカッターによりコンクリートを切断した際、誤って灯外内管を切断し、ガス漏えいが発生した。ガス漏えい防止のため、バルブ閉止及びガス工作物からのガス供給停止を実施したため、115戸の供給支障事故が発生した。 原因は、水道工事業者がカッターによりコンクリートを切断した際に、付近にガス管は無いと誤認したため、灯外内管を切断し、ガス漏えい事故が発生したもの。
2	1/8	大阪	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、改装工事業者から埋設管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が容器バルブとメーターガス栓の閉止を指示した後、現場に出動し、埋設配管が損傷していることを確認した。 原因は、改装工事業者が排水工事の際に、埋設管の位置を確認しないまま作業を行い、削岩機で埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
3	1/8	大阪	建築工事	LPガス	0	一般住宅において、建築工事業者から作業中に埋設管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管(プラスチック被覆鋼管)の継手部の損傷を確認した。 原因は、建築工事業者が基礎工事中の際に、埋設管の位置を確認しないまま作業を行い、掘削機により埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
4	1/9	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防より「家屋解体中に、ガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、家屋解体工事中に解体用つかみ機にて、隣接で使用中の灯内内管を破損したもの。
5	1/10	長崎	水道工事	LPガス	0	集団供給の個別の一般住宅(新築物件)において、仮設水道工事を行っていた水道工事業者が、掘削作業中に水道管に近接していた埋設供給管(ポリエチレン管)を工具(スコップ)で損傷したことによるもの。 なお、販売事業者は当該物件の建設工事業者と事前協議を行っており、また、ポリエチレン管が埋設されている旨の標示杭を設置していたが、水道工事業者への周知が不足していたものと推定される。
6	1/14	東京	解体工事	都市ガス	2	解体工事業者から「建物解体作業中にガス管を損傷した」との通報を受け、受付中に爆発火災事象が発生した。 ガス事業者が出動したところ、建物2階で爆発が発生し、当該建物の1階・2階の損壊及び建物の一部焼損を確認した。また、当該建物の住民2名が負傷のため病院に搬送されたことを確認した。 原因は、解体工事業者が、解体工事範囲にあるガス管はガスが通じていないと思い、ガス事業者へ連絡することなく作業した結果、電動工具にて灯外内管を損傷したもの。その際、損傷したガス管から漏えいしたガスが、当該建物内に滞留し、建物2階に設置してあるガスこんろの点火により引火、爆発に至ったものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7	1/24	千葉	解体工事	都市ガス	0	需要家から「解体中の工事現場よりガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、供給管の接続部が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていたガス管を重機にて引っ掛け、損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、ガス管表示杭の位置を予め確認できていたことから、当該敷地内の整地作業範囲内にはガスの通じているガス管はないものと思い、作業したところ、重機にてガス管を損傷したとのこと。
8	1/26	鹿児島	基礎工事	LPガス	0	飲食店において、基礎工事業者から供給管が損傷しガスが漏えいしているとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、設備の損傷とガスの漏えいを確認した。 原因は、基礎工事業者が容器設置場所の隣地を土留工事をせずに掘削していたところ、容器設置場所の基礎が崩落し、容器が落下したことで、調整器の高圧ホース接続部が損傷したことによるもの。 なお、基礎工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
9	1/28	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体工事中に、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の継手抜け破損によるガス漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が灯外内管を掘削機(バックホウ)にて破損し、継手が抜け、ガス漏えいが発生したものと推定される。
10	1/28	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物の解体工事中にガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が建物の解体作業中に、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、事前に連絡することなく解体作業を行った結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
11	1/29	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「鋼矢板の打ち込み作業中にガス臭気が発生した」との通報を受け、出勤したところ、供給管が損傷し、ガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道工事業者が、掘削にてガス管の位置を確認していたにも関わらず、掘削後にマーキングを復元せず、かつ図面の確認を怠ったためガス管が無いと思い込み、当社に連絡しないまま打ち込み作業を行い、ガス管を損傷したものの。
12	1/29	東京	リフォーム工事	都市ガス	0	リフォーム工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。なお、安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止した結果、当該建物の需要家30戸への供給支障が発生した。 原因は、リフォーム工事業者が当該建物地下3階において、排水管の敷設作業に伴うコンクリート研り作業中に、配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものの。 また、リフォーム工事業者によると、ガス事業者へ事前に連絡することなく、排水管の敷設作業に伴うコンクリート研り作業を行った結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
13	2/1	香川	電気工事	LPガス	0	一般住宅において、造成団地内の電柱入れ替え工事に伴う掘削作業時に、漏えいが発生した。 原因は、掘削作業中、重機により埋設された供給管に接触し損傷させたことによるもの。 なお、工事業者は工事前に販売事業者との協議がなかったことにより、現場作業者が埋設管の確認を行っていなかったとのこと。
14	2/1	神奈川	下水工事	都市ガス	0	他工事巡回員から「下水工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、下水工事により損傷された供給管に水道水が流入し、供給支障が発生した。 原因は、下水工事業者がカッターにて作業したところ、供給管および、給水管がカルバート上部に浅く埋設されていたため損傷し、給水管から噴出した水道水がガス管に流入し、支管を閉塞したため、供給支障となったもの。
15	2/1	東京	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、道路工事業者が道路改良作業中に当該敷地内に埋設されていたガス管をエンジンカッターにて損傷したもの。 なお、道路工事業者によると、当該建物がLPガス供給の店舗であったことから、当該敷地内にガスの通じているガス管は埋設されていないと思い、道路改良工事に伴う掘り付け舗装中にエンジンカッターにてガス管を損傷したとのこと。
16	2/4	沖縄	下水道工事	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事に伴う掘削時に漏えいが発生した。 原因は、下水道配管工事中、重機が埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、下水道工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
17	2/5	埼玉	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より自宅の改装工事中に改装工事業者がLPガス配管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出勤し確認したところ、ガスメーターに圧力低下遮断(BCP)が表示されていること、また床下配管が損傷していることを確認した。 原因は、改装工事業者が作業中に誤って床下配管を切断したことによるもの。 なお、消費者及び改装工事業者から販売事業者に工事前の事前連絡がなかったとのこと。
18	2/6	千葉	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が水道管を切断しようとした際、誤って配管を切断し、ガスが漏えいした。 原因は、水道工事業者が配管の確認をせずに切断し損傷させたもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
19	2/7	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	協力企業から「建物の改装工事を行っていた設備工事業者より、ガスを損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。なお、安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止した結果、当該建物の需要家33戸への供給支障が発生した。 原因は、設備工事業者が給水管の改修工事に伴う建物1階パイプシャフト内コンクリートの研り作業中に、コンクリート下に配管されていたガスを電動工具にて損傷したものの。 なお、設備工事業者によると、給水管の改修工事に伴うコンクリート研り作業の範囲内に、ガス管が配管されているとは思わなかったため、当社にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
20	2/9	埼玉	建物改修・改装工事	都市ガス	0	設備工事業者から「建物の改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、設備工事業者が給水工事に伴う建物1階パイプシャフト内のコンクリートコア抜き作業中に、コンクリート下に配管されていたガスを電動工具にて損傷したものの。 なお、設備工事業者によると、給水管の更新工事に伴う建物1階パイプシャフト内のコンクリートコア抜き作業範囲内に、ガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者がガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
21	2/18	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物解体作業中に火が付いた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、建物解体に伴う配管切断作業範囲にある管はガスの配管でないと思い、ガス事業者がガスの通じているガス管があるかの確認を行うことなくバーナーにて配管切断作業を行った結果、ガス管を損傷した。その際、漏えいしたガスに配管切断作業に用いたバーナーの炎が着火し、ガス管固定金具を焼損したものの。
22	2/19	京都	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事中に、ガス臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、家屋解体工事中に、解体用つまみ機にて灯外内管を破損したものの。
23	2/21	大阪	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	造園工事業者から「植樹工事中、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、破損箇所付近よりガス臭気を確認した。 ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家56戸への供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の管体破損を確認した。 原因は、敷地内の植樹工事に伴い掘削し、造園パール(造園工具)にて灯外内管の管体部を破損したものの。
24	2/22	佐賀	不明	LPガス	0	共同住宅において、工事業者より掘削工事中に埋設配管を損傷させ漏えいに気づいた作業員が容器バルブを閉止し販売事業者と連絡をした。販売事業者は現場に出勤し配管の損傷を確認した。 原因は、工事業者が掘削工事中に埋設配管を誤って損傷させたことによるもの。 なお、工事業者による販売事業者への埋設管の事前照会がなかった。また、埋設標識シートにも気づけなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
25	2/23	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から「外構工事作業中にガスを損傷し火が付いた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。 原因は、建設工事業者が、外構工事作業範囲内に切断済みのガス管があることは確認していたが、ガスが通じていないと思い、ガス業者にガスの通じているガス管があるかの確認を行う事なく、ガス管切断作業を行った結果、電動工具にて損傷した。その際、漏えいしたガスに配管切断作業に用いた電動工具の火花が着火源となり着火し、火災が発生したものの。
26	2/26	京都	解体工事	都市ガス	0	警察から「解体工事中、ガス管を破損。警察、消防出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が家屋解体中、不使用の灯外内管(道路からの引き込み立上り露出部)をガスが流れていないガス管と思い込み、ディスクグラインダーにて切断したものの。
27	2/27	茨城	下水道工事	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者から道路の掘削作業中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し埋設本管(供給管)からの漏えいを確認した。 原因は、下水道工事業者が道路の掘削作業中に誤って埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、下水道工事業者から販売事業者へ工事による立会の依頼がなかったとのこと。
28	3/1	大阪	その他(白蟻駆除)	都市ガス	0	白蟻駆除工事業者から「白蟻の駆除工事に伴う穴あけ工事中にガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、建物の白蟻駆除に伴う薬品注入の為に、敷地内を電動ハンマードリルでボーリング工事中に、灯外内管の管体を破損したものと推定される。
29	3/4	東京	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者が、当該敷地内にガス管表示杭を確認していたが、道路上で撤去され、新築工事の山留作業に伴う掘削作業範囲内にガス管はないと思い、ガス業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
30	3/12	埼玉	水道工事	LPガス	1	一般消費者からガスが使えない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し確認したところ、現場付近の水道工事により埋設供給管(低圧部)が損傷し、漏えい火災が発生していることを確認した。 原因は、水道工事業者が重機で道路を掘削中、誤って供給管を損傷させたことによるもの。また、金属スコップの使用により生じた火花が引火し着火したものと推定される。

No.	発生日	報道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
31	3/12	兵庫	外構・門 扉工事	都市ガス	0	ガス事業者の社員から「新築工事現場にて外構工事中にガス管破損を 発見」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、戸建住宅の新築外構工事中に灯外内管(不使用管)を掘削機 (バックホウ)にて破損したものの。
32	3/13	愛知	電気工 事	都市ガス	0	電気工事業者が敷地内工事中に、灯外内管をコア抜き工事にて損傷 し、ガスが噴出した。 ガス事業者が分岐バルブ50mmを閉止し、当該建物の需要家 34件が 供給支障となったものの。
33	3/15	北海道	排雪工 事	LPガス	0	事務所において、消費者からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業 者が現場へ出勤し確認したところ、屋外横引き配管の継手部より漏えい を確認した。 原因は、屋根工事業者が工事の際、設備付近に排雪したことで雪解け の荷重により配管と継手のねじ部に亀裂が入ったことによるもの。 なお、屋根工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
34	3/15	京都	水道改 修工事	都市ガス	0	水道工事業者から「漏水修理工事の際、敷地内を掘削したところチッ パーで灯外内管を破損して着火」と通報を受け、出勤したところ、灯外内 管の破損を確認した。 原因は、漏水修理工事の際に敷地内を掘削したところ、チッパーにて灯 外内管を破損したものの。
35	3/15	東京	解体工 事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、 出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物がLPガス供給であったことからガ スの通じたガス管はないと思い、建物解体工事に伴う掘削作業を行った 結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの。
36	3/16	兵庫	解体工 事	都市ガス	0	消防から「マンション解体中、ガス管を破損して爆発し、煙が出ている」と の通報を受け、出勤したところ、噴出したガスに引火していることを確認 した。ガス事業者により当該建物の引き込み管遮断バルブを閉止し、ガ ス漏えいを停止、応急措置を完了した。 原因は、消防によると、解体工事時に、電動ノコギリにて灯外内管を 誤って破損し、噴出・滞留したガスに電動ノコギリのスパークにより着火 したものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
37	3/19	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事中に、ガスを破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、家屋解体中に灯外内管を解体用つまみ機にて破損したものの。
38	3/19	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から「当該住所付近よりガス臭気」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者によると、当該建物がLPガス供給であり、LPガス容器も既に撤去されているものと認識していたことから、ガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を切断したとのこと。
39	3/23	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内整地工事に伴う杭打ち掘削中に、ガスを破損。敷地内で、2m程度ガスを引き抜いた。ガスの臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管及び供給管の破損を確認した。 原因は、整地工事に伴う地盤改良工事（アースオーガーによる杭打ち作業）の際、整地工事業者がガス管位置を未確認のため、当該敷地内の灯外内管を巻き込み、供給管を引き抜いたものの。
40	3/27	東京	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者から「ガスを損傷した」との通報を受け、出勤したところ、供給管ならびに灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、下水道工事業者によると、掘削作業の範囲内に、ガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガスを損傷したとのこと。
41	4/2	長野	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者がコンクリートカッターにより誤って埋設供給管を切断し漏えいが発生した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。 (バルク容器 500kg×1基)
42	4/2	福岡	建物改修・改装工事	都市ガス	0	マンションの改修工事において、他工事業者が当該敷地内コンクリート部分を舗装カッターにて切断作業中、埋設された灯外内管を破損した。 二次災害防止のため、ガス事業者にて当該マンションの引込管ガス管遮断装置を閉止したことにより、34戸の供給支障が発生した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
43	4/3	鹿児島	水道工事	LPガス	0	その他店舗において、消費者からガス臭がするとの通報を受けた販売事業者が現場へ緊急出動したところ、埋設配管の半分以上が切断され、またガスメーターに合計・増加流量オーバー遮断(C表示)がされていることを確認した。 原因は、水道工事業者が漏水修理のためグライダーにより水道管を切断した際、誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、消費者及び水道工事業者から販売事業者に工事前の事前連絡がなかったとのこと。
44	4/5	長野	水道工事	都市ガス	0	複数需要家から「ガスが使えない」との通報を受け、出動したところ、供給支障の発生を確認した。 原因は、水道工事の施工者がカッターにて舗装切断作業したところ、低圧支管に設置されている水取器立管が舗装に覆われていたため気付かず水取器立管を損傷し、舗装切断に伴い発生した濁水が、低圧支管に流入し閉塞したため、供給支障となったもの。
45	4/8	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が建物解体工事に伴う掘削作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、掘削作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、当該敷地内に埋設されて別建物に供給しているガス管を重機にて損傷したものの。
46	4/9	和歌山	管工事	LPガス	0	一般住宅の敷地内において、工事業者による浄化槽の入れ替え工事の際、コンクリートカッターにより誤って埋設供給管(25A)を損傷させ、漏えいが発生した。また、当該敷地は、約15年前に埋設管を用いた集団供給から容器による戸別供給へと切替えたが敷地内の埋設供給管は撤去されていなかった。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、工事業者が事前連絡をしておらず、埋設配管の位置を把握していなかった。
47	4/9	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を破損、ガスが噴出している」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が破損したことを確認した。 原因は、建物外壁取壊し中、外壁が崩れ、灯外内管(不使用管)を破損したものの。
48	4/10	山梨	下水改修工事	LPガス(簡易)	0	需要家から「敷地内下水道工事中にガス管を損傷してしまった」との通報を受け、出動したところ、敷地内のコンクリートカッターにより灯外内管を損傷していた。なお、特定製造所付近での損傷で導管バルブがないため、保安確保のため、特定製造所のバルブを閉止し、84戸を供給停止した。 原因は、敷地内の下水道工事において、灯外内管の埋設位置等を確認せずコンクリートカッターによる施工を行ったため。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
49	4/13	栃木	外構工事	LPガス	0	一般住宅(集団供給)において、近隣の住民から解体工事により埋設供給管(ポリエチレン管25A)を損傷し、漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、先に到着した消防により供給が停止していることを確認し、補修作業を行った。 原因は、解体工事中、重機により埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、外構工事業者が埋設供給管の位置を把握していなかった。
50	4/15	東京	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ロックオーガー工法にて削孔作業中にガス管を損傷した可能性がある」との通報を受け、出勤したところ、オーガーにて低圧本管が損傷していることを確認した。 原因は、建設工事業者が、ガス事業者との事前協議は行ったが、地下躯体解体への変更及び地下躯体解体に伴うオーガー削孔を行う旨の連絡及び協議は行わなかった。当日もガス事業者への施工連絡をしないで、オーガー削孔を敷地内で行ったところ、誤って公道部を削孔し、低圧本管を損傷したものの。
51	4/16	長崎	下水道工事	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事業者がコンクリートカッターにより誤って埋設供給管を切断し漏えいが発生した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、下水道工事業者が事前連絡をしておらず、埋設配管があるとの意識がなかった。
52	4/16	北海道	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「火災発生」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管からガスが漏えいし、電動工具の火花が着火源となり、火災が発生した。 原因は、入居予定者が店舗内部改装作業において、間仕切り壁の撤去中に、露出した灯外内管を電動工具を用いて切断撤去しようとした際に、ガス管を損傷し、漏えいしたガスに切断時の火花が着火源となって、火災に至ったもの。
53	4/18	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、敷地内不使用ガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、供給管の破損を確認した。 原因は、家屋解体後の整地工事中、供給管(不使用)をバックホーにて破損したもので、バックホーのオペレーターの位置確認ミスによるもの。
54	4/19	東京	水道工事	都市ガス	1	協力企業の作業員から「水道工事作業員が工事中にガス管を損傷し着火した」との通報を受け、出勤したところ、水道工事業者が工事中に灯外内管を損傷し、着火したことが及び水道工事作業員1名が重症(火傷)であることを確認した。 原因は、水道工事業者の作業員は、ガス管であることは認識していたがガスが止まっていると思い込み、ガス事業者に照会を行うことなく切断しようとした結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を電動工具にて損傷した。その際、電動工具から発生した火花が着火源となり、損傷したガス管から漏えいしたガスに着火したものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
55	4/22	京都	水道工事	都市ガス	0	協力企業から「水道工事中ガス管破損、手当なし。臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管の破損を確認した。原因は、水道工事中、掘削機(バックホウ)にて、供給管を破損したものと推定される。
56	4/23	神奈川	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。原因は、ガス事業者は、建築工事業者より、基礎工事の支障になるガス管撤去作業の依頼を受けていたため、建築工事業者の作業員がガス管撤去工事実施前に、ガス管の上流にバルブがあったことにより、バルブが閉止されガスの流入がないものと思い込み、ガス管をガスバーナーにて溶断したもの。その際、ガス管を溶断して漏えいしたガスに、ガスバーナーの火が着火したものと推定される。
57	4/29	大阪	衛生工事	都市ガス	0	消防から「マンション内で工事中、ガス管を破損した。消防出動中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、排水升取替え工事中、コンクリート舗装カッター切りにて、灯外内管を破損したものの。
58	4/29	東京	改修・改装	都市ガス	0	設備工事業者から「改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、設備工事業者が排水管工事に伴うコア抜き作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、設備工事業者が、掘削作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
59	5/5	岐阜	解体工事	LPガス	0	団地内の一般住宅において、消費者よりガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、容器(50kg×10本)に霜がついており、空であることを確認した。その後、団地の当該住宅と同じ区画内で行われていた家屋の解体工事に伴い、供給管が損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が作業中に供給管を損傷したことによるもの。なお、解体工事業者は供給管の損傷に気が付いていなかったとのこと。また、解体工事業者から工事に関する事前連絡は行われなかったとのこと。
60	5/11	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体現場の近隣住民よりガス臭気の申し出があった」との通報を受け、出勤したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管及び供給管が損傷していることを確認した。原因は、解体工事業者が整地作業の際に、灯外内管を重機で損傷させ、また灯外内管を引っ掛けた際に、供給管が損傷したものの。なお、解体工事業者によると、当該解体現場の整地作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
61	5/11	兵庫	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	地盤改良工事業者から「敷地内地盤改良工事中にガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、地盤改良工事中、ボーリングマシンにて、灯外内管を破損したものの。
62	5/13	愛知	下水工事	都市ガス	1	集合住宅敷地内において、下水工事のカッター作業中に、灯外内管を損傷してガスが漏えいた。漏えいたしたガスを止めようと、周りのコンクリートを研った際に着火し、作業員1名が軽度の火傷を負った。原因は、下水工事業者が、工事範囲内にガス管が無いと思い込み、カッター作業を行ったため。
63	5/13	大阪	衛生工事	都市ガス	0	衛生設備工事業者から「マンション内の排水管改修工事時に、コアドリルにてガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、破損箇所付近にてガス臭気を確認した。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家51戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の管体部破損を確認した。原因は、敷地内の排水管改修工事に伴うコアドリル作業中、灯外内管の管体部を破損したものの。
64	5/14	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ビルの立体駐車場の解体工事中にガス管を破損した。詰め物をして手当済み」との通報を受け、出勤したところ、ガスが噴出していた。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家50戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の継手部破損を確認した。原因は、ビル立体駐車場解体工事中、アイオンブレーカーにて、灯外内管を破損したものの。
65	5/15	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中に供給管を破損。手当てせず土を被せている」との通報を受け、出勤したところ、供給管の取出し部(ネジ部)での折損を確認した。原因は、水道工事中、掘削機(バックホウ)にて、供給管を破損したものと推定される。
66	5/15	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	外構工事業者から「敷地内コンクリート部をコアドリルで掘削時にガス管を破損した。メーターガス栓閉止するも噴出止まらず」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管継手部の本体破損を確認した。原因は、敷地内門柱設置工事時、コンクリートコアドリルにて掘削作業中、灯外内管の継手部本体を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
67	5/16	京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	舗装工事業者から「道路舗装工事時、舗装を捲った際に、バルブのようなものをユンボで破損した」との通報を受け、出勤したところ、供給管の取出し部での破損を確認した。 原因は、道路舗装復旧工事中、バックホー(掘削機)にて供給管を破損したものの。
68	5/16	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中に、ガスを引っかけた。手当なく臭気大」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の継手部の折損を確認した。 原因は、解体工事中、バックホー(掘削機)にて灯外内管(不明不使用管)を破損したものの。
69	5/16	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	建築工事業者から「外構工事中に、灯外内管を破損、ガス噴出中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の継手部(ネジ部)の折損を確認した。 原因は、外構工事中、バックホー(掘削機)にて灯外内管(不使用管)を破損したものの。
70	5/18	千葉	下水工事	都市ガス	1	他工事業者が、敷地内の下水道工事中に、コンクリートカッターで作業を行っていたところ、誤って灯外内管を損傷した。漏えいしたガスがカッターから発生した火花により引火し、作業員1名が火傷を負った。また、建物の網戸を一部焼損した。 原因は、他工事施工者が、工事範囲にガス管がないと思い込み、ガス管の位置を確認せずにカッターで作業を行ったため。
71	5/19	鳥取	建設工事	LPガス	0	学校等において、建設工事業者が1階トイレ床土間コンクリートの研り工事を行った際、土中に埋設された配管を損傷させ漏えいが発生した。現場に居合わせた設備業者が漏えいしているバルク貯槽消費側のバルブを閉止し、販売事業者へ連絡をした。販売事業者が現場へ出勤し損傷部の取り替え修繕を行った。 原因は、建設工事業者が工事中作業器具(エアブレーカ)により埋設配管を損傷させたことによるもの。 (バルク貯槽 490kg×1基)
72	5/21	鳥取	整地・造成工事	LPガス(簡易)	0	供給管に根がからみついた樹木を、重機により撤去しようとしたため、引き込みバルブ上流ねじ部を折損した。保安のため、調停戸数47件を供給停止した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
73	5/22	滋賀	除草作業等	都市ガス	0	需要家から「隣宅のガスメーター付近よりガス臭気。消防へも通報した。」との通報を受け、出勤したところ、灯内内管の破損箇所を確認した。 原因は、草刈り機の操作ミスによるガス管破損と推定される。 造園業者からガス事業者への事前協議は無し。
74	5/27	静岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者から、埋設管を損傷しガスが漏れいている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤したところ、埋設供給管が損傷していることを確認した。 原因は、水道工事業者が隣接する新築一般住宅の水道管敷設工事に伴う掘削作業中に共同住宅の埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、水道工事業者から販売事業者への事前連絡は無く、物件管理会社に対しても詳細な工事の日時が知らされないまま工事が行われたとのこと。 また、新築一般住宅は共同住宅の所有者の家族が施主であったことから、共同住宅の敷地内を通じて、水道管敷設工事が行われたとのこと。
75	5/27	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体現場において、ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が建物解体に伴う掘削作業中に、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、当該敷地内にガスの通じたガス管が配管されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたが、掘削する作業範囲内にはガス管はないと思い込み、当社に照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
76	5/27	福岡	解体工事	都市ガス	0	「広範囲にわたりガスの臭いがする」との通報を受け、出勤したところ、臭気を確認したが、漏洩箇所が断定できず、即時ガス止め工事が出来ない為、特定製造所にて供給停止し、91戸の供給支障が発生した。 原因は、一般住宅において解体工事を行っており、解体現場裏手の家にあつた灯外内管の損傷が漏洩の原因と思われる。裏手の家に敷設されている灯外内管が、当該解体現場との境界付近まで敷設されており、今回の外構基礎解体工事の際に基礎に巻き込まれ損傷された可能性が高い。
77	5/30	神奈川	草刈業者	LPガス	0	事務所において、集中監視センターにて継続使用時間オーバー遮断予告を受信し、消費者に連絡をした。消費者よりガス器具の点火はしていないが容器よりガス漏れ音がし、メーターが回っている旨の報告を受け、販売事業者が現場に出勤したところ、メーターが圧力低下遮断(BCP表示)していることを確認した。全ての器具栓を閉めメーター復旧操作をしたところ、合計・増加流量オーバー遮断(C表示)したことから、翌日漏れ箇所を調査したところ、埋設配管より漏れしていることを確認した。 原因は、事故の前日に草刈業者が防草シートを固定するため地面に杭を打ったことにより、埋設されていた配管用フレキ管を損傷させたことによるもの。
78	6/3	大阪	下水工事	都市ガス	0	下水工事業者から「雨水工事時に掘削機にてガス管を破損。臭気大、手当不可で土中に埋めている」との通報を受け、出勤したところ、本管管体部での破損を確認した。 原因は、雨水工事中、バックホーにて本管を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
79	6/3	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「路地入口、立管位置との別の所を掘削中に、臭気あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管が破損したことを確認した。 原因は、解体工事中、バックホー(掘削機)にて灯外内管及び供給管継手部を破損したものの。
80	6/4	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、建物解体工事に伴う足場設置に伴う杭打ち作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、杭打ち作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の位置確認の照会を行うことなく作業した結果、打設した杭にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
81	6/5	栃木	外溝工事業者	LPガス	0	共同住宅において、外溝工事業者から埋設配管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管(ポリエチレン管)の継手部の損傷を確認した。 原因は、外溝工事業者が掘削作業中に重機を埋設供給管に接触させ、継手部が損傷したことによるもの。
82	6/6	滋賀	水道工事業者	LPガス	0	団地内の一般住宅において、水道工事業者が掘削作業中に埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏えいした。 なお、販売事業者は工事前に水道工事業者と埋設管の位置を図面にて確認したが、現場立会いは行わなかったとのこと。また、以前供給を行っていた販売事業者から受領した図面と実際に供給管の位置が相違しており、当該掘削箇所には供給管が無いと認識していたとのこと。
83	6/10	熊本	電柱設置工事	LPガス(簡易)	0	当該団地付近で電柱の支柱施工業者が、穴掘建柱車にてスクリーを回転させ、斜めに掘削中、ガス管を損傷しガスが漏洩。安全確保のため全151戸のガス供給を停止した。 原因は、設備工事管理会社より、施工場所にはガス管は存在しないと説明を受けた支柱施工業者が掘削した事によるもの。
84	6/13	福岡	設備工事	LPガス	0	共同住宅において、設備工事業者よりガス管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、壁内に隠ぺいされている供給管(SGP)が損傷していることを確認した。 原因は、設備工事業者が壁の切断作業の際に、壁内の隠ぺい供給管に気が付かず、管を損傷したことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
85	6/13	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガスを損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管ならびに供給管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ掛けた結果、供給管ならびに灯外内管を損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が配管されていること及び埋設位置の周知を行った。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、ガス管理設置位置を誤って認識していたため、掘削作業時に重機にてガス管を損傷したとのこと。
86	6/17	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	設備工事業者から「建物の改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、コンクリート研り作業の範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。
87	6/18	広島	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者から埋設管を損傷し、ガスが漏えいしているとの連絡を受けた配送事業者が容器バルブの閉止を指示した。その後、販売事業者が現場にて埋設供給管(SGP)が損傷していることを確認した。 原因は、水道工事業者が掘削作業の際、カッターで埋設供給管を損傷したことによるもの。
88	6/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事にガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事中、解体用つかみ機にて灯外内管管体部を破損したものの。
89	6/19	愛知	下水工事	都市ガス	0	集合住宅敷地内の下水工事にて、カッター作業中に灯外内管を損傷しガスが漏えいし、漏えいしたガスを停止するため、引込管バルブを閉止したことにより当該集合住宅が供給支障となった。 原因は、下水工事業者が、工事範囲にガス管が無いと思い込み、カッター作業を行ったため。
90	6/22	岐阜	他工事業者	LPガス	0	店舗において、近隣住民よりガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、ガス検知器による漏えい確認を行ったところ、側溝より反応があったものの漏えい箇所は特定できなかった。その後、住民より当該店舗で前日に自動販売機の入れ替え作業があったとの情報を受け、自動販売機を移動し掘削により確認したところ、供給管が損傷していることを確認した。 原因は、自動販売機の設置時に転倒防止用アンカーを地盤面に打ち込んだことで、アンカーが供給管を損傷させたことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人約被害	事故概要
91	6/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内基礎解体工事中に、コンクリートに巻き込まれていたガス管を破損。噴出音がしてガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ継手部破損を確認した。 原因は、建物基礎解体工事中に、掘削機(バックホー)により灯外内管を破損したものの。
92	6/26	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事業者より解体工事中、ガス管を破損したと連絡があり消防・警察出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、掘削機(バックホー)にて、誤って灯外内管を破損したものの。
93	6/28	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「新築工事中、臭気」との通報を受け、出動したところ、供給管を破損したことを確認した。 原因は、敷地内掘削作業中、バックホーにて灯外内管を誤ってひっかけ、供給管を引き抜き破損したものの。
94	7/2	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガレージ解体中に、敷地内埋設部でガス管を破損。ガスが噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、敷地内掘削作業中、バックホーにて灯外内管を誤って破損したものの。
95	7/3	熊本	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	需要家から「ガスが出ない」との通報を受け、出動したところ、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。 滞水による供給支障は周辺需要家151戸。 原因は、他工事業者によるオーガーを用いた地盤改良工事中に、支管と給水管を同時に損傷し、損傷箇所から水道水が流入したことが確認された。
96	7/5	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を引っ張り、敷地境界付近で抜けた。粘土で手当済みだが少しガス臭い。商店街の中です」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のネジ継手部の破損を確認した。 原因は、建物解体工事中、掘削機(バックホー)による作業時に、誤って灯外内管を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
97	7/6	東京	解体工事	都市ガス	0	隣家でガス管の修繕を行っていた協力企業から、「建物1階店舗内を解体していた内装工事業者よりガス管を損傷」との報告を受け、当社に通報、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、内装工事業者によると、当該建物1階店舗内の解体工事作業範囲内にガスの通じたガス管はないと思い、当社にガス管の有無及び配管経路の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したとのこと。
98	7/9	東京	排水工事業者	LPガス	0	事務所において、消費者よりガスが使えないとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し確認したところ、メーターが合計・増加流量オーバー遮断(C表示)されていることを確認した。 原因は、事故の2日前に当該事務所の排水工事を行った際、誤って配管を損傷させたことによるもの。
99	7/10	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物のガス管が地境付近で撤去済みであると思い込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したものと推定される。
100	7/11	奈良	解体業者	LPガス	0	一般住宅(小規模導管供給先)において、解体工事業者が電動工具により埋設供給管を切断し、漏えいしたガスに工具の火花が引火した。 原因は、解体工事業者が作業中に埋設供給管の立ち上がり部分を誤って切断したことによるもので、埋設供給管にガスが充填されていることを確認していなかった。 なお、当該住宅は約10年前からオール電化住宅に変更していたが、埋設供給管は残っていたとのこと。
101	7/12	静岡	外構・門扉工事	LPガス(簡易)	0	工事業者から「ブロック塀を作る為に境界付近を掘削している際に灯外内管を損傷」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 二次災害防止と損傷部の掘削作業の為に、支管(40mm)のバルブを閉止し33戸の供給を停止した。 原因は、作業範囲内にガス管が埋設配管されていると思わず、位置確認の照会をしなかった結果、灯外内管を重機で損傷したものの、プラグ止めに修理完了。
102	7/12	東京	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者から「電気工事中、道路にカッターを入れたらガス臭いがあがった」との通報を受け、出動したところ、カッターにより支管が損傷していることが判明した。 原因は、電気工事業者が、ガス管の埋設物調査を行わず、かつ当社に未照会のまま施工したところ、支管が不明コンクリート構造物の上部に浅く埋設されていたため損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
103	7/13	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「カッター切り作業中にガス管を破損、メーターガス栓を閉止するもガス噴出止まらず」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、敷地内でカッター切り作業をしている際に、灯外内管の直管の管体部を破損したものの。
104	7/17	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	地質調査業者から「敷地内地質調査時、ボーリングマシンによりガス管を破損、臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、地質調査に伴うボーリングマシン作業中に、灯外内管の直管管体部を誤って破損したものの。
105	7/22	奈良	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体中、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管からのガス漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が無連絡で建物解体工事を実施し、掘削機（バックホー）にて、灯外内管を破損したものの。
106	7/23	埼玉	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者が、敷地境の擁壁の解体を行っていたところ、土中の灯外内管を損傷、解体作業で発生した何らかの火花により、漏えいしたガスに引火し擁壁を焼損した。 原因は、ガス管の埋設位置を確認せずに擁壁解体作業を行ったため、ガス管を損傷したものの。
107	7/25	東京	リフォーム業者	LPガス	0	共同住宅において、改装工事業者が配管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、改装工事業者がマンホール移設のため、当該住宅のコンクリートを掘削した際、誤って埋設供給管に穴を開けてしまったことによるもの。
108	7/25	兵庫	水道工事	LPガス（簡易）	0	水道工事業者が道路掘削機で、支管を破損しガスが漏洩した後、ガスに引火したものの。 原因は、水道工事業者が、ガス管があることを認識せずに道路掘削機で支管を破損し、ガスが漏えい。ガス漏れ箇所を特定するために電動コンクリートブレーカーでアスファルトを研ったところ着火したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
109	7/25	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より建物解体に伴い、ガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、当該敷地内にガスの通じたガス管が埋設されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、ガス管表示杭の位置をあらかじめ確認できていたことから、敷地内の整地作業範囲内にはガスの通じているガス管はないものと思い作業したところ、重機にてガス管を損傷したとのこと。
110	7/26	東京	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、H鋼打ち込み作業中に、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者は、設備工事業者より「ガス管は道路面で切った」と聞いていたことから、敷地内にガス管がないと思い込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したものの。
111	7/29	岡山	水道業者	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が工事中に電動工具により配管を損傷させ漏えいしたガスに着火した。なお、マイコンメーターよりガスを遮断したことから火災には至らなかった。 原因は、水道工事業者が配管（白管）を水道管と勘違いし、電動工具で切断し損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者より販売事業者に工事の事前連絡は行われなかったとのこと。
112	7/29	東京	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「カッター作業時にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、供給管が損傷されていることを確認した。 原因は、道路工事業者がカッターにて作業したところ、供給管が浅く埋設されていたため損傷したものの。
113	7/30	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、掘削機にてガス管を破損。ガスが噴出し臭気有り。手当てしていない」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、ガス管があることを認識せず、掘削機（バックホウ）にて灯外内管を破損したものの。
114	7/31	神奈川	排水管工事業者	LPガス	0	一般住宅において、容器配送業者より排水管工事業者が埋設配管継手部を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が現場に出動し、容器のバルブを閉止した後、メーターが合計・増加流量オーバー遮断（C表示）していることを確認した。 原因は、排水管工事業者が排水管の入れ替え工事におけるコンクリート切断作業時に、カッターを埋設配管継手部に接触させたことによるものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
115	7/31	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中にガス臭気がする」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因はガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
116	7/31	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者は、施主がガスの停止を申込むことになっていたため、実際は閉栓のみであったにもかかわらずガス管が地境付近で撤去済みであると思込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
117	8/3	鳥取	住宅改修工事業者	LPガス	0	一般住宅において、住宅改修工事業者が埋設供給管継手部を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、改修工事業者が駐車場整備のため重機で花壇を掘削した際、引き込みバルブに引っかかり埋設供給管接続部を損傷させたことによるもの。
118	8/3	福島	下水道工事業者	LPガス	0	道路において、下水道工事業者より工事中に埋設供給管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し緊急処置を行った。 原因は、下水道工事業者が掘削作業中に重機を埋設供給管に接触させ、損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者は下水道工事業者から事前の事前連絡を受け、埋設管の確認を行ない、当日も立会いの上埋設管の位置を確認していたが、掘削作業実施者への注意が不足していたと推測される。なお、事故は販売事業者が現場から退去した後に発生した。
119	8/3	大阪	解体工事	都市ガス	0	需要家から「需要家本人にて解体工事実施中に、門扉横を掘削すき取った際に、ガス管を破損。陽炎が上がっている。手当なし」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、需要家本人にて解体工事中に、灯外内管をバックホウにて破損したものの。
120	8/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中にガス臭気がする」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者は、既に緑切りされていたLP設備を確認していたことから、当該敷地内にガスの通じたガス管はないと思込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
121	8/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管ならびに供給管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ掛けた結果、灯外内管ならびに供給管を損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管の切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が配管されていること及び埋設位置の周知を行った。 なお、解体工事業者によると、敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、コンクリート壊し作業時に重機にてガス管を損傷したとのこと。
122	8/5	東京	その他改修工事	都市ガス	0	建設工事業者から「建物1階敷地内でのコンクリートカッター作業中にガスが噴出した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者が1階店舗前のスロープを階段に変更するため、コンクリートカッター作業を行った際、灯外内管を損傷したものの。 なお、建設工事業者によると、官民境近傍に貼付されたガス管表示シールによりガス管が埋設されていることの認識はしていたものの、コンクリートカッター作業の範囲内には埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の位置確認を行うことなく作業した結果、コンクリートカッターにてガス管を損傷したとのこと。
123	8/6	東京	水道工事	都市ガス	0	設備工事業者から「給水工事作業中にガス臭気を感じた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が9階住戸の給水管取替に伴うパイプシャフト内コア抜き作業の際、灯外内管を損傷したものの。 また、ガス事業者が安全確保のため分岐バルブを閉止した結果、当該建物内83戸の供給支障が発生した。 なお、設備工事業者によると、給水管取替に伴うコア抜き箇所が給水管を挟みガスメーターの反対側であったことから、作業範囲内にガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の位置確認を行うことなく作業した結果、コア抜き用ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したとのこと。
124	8/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中、ガス管を破損。シューと音がしてガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、前日、ガス事業者と解体工事業者にて協議し、当日の夕方にガス事業者にて側溝でカットを行う約束であったが、解体工事業者がガス事業者に連絡無しで先行して工事を行い、誤ってガス管を破損したものの。
125	8/8	長野	草刈業者	LPガス	0	共同住宅において、町職員が敷地内の草刈作業を行っていたところ、誤って草刈機を配管に接触させ漏えいが発生した。 なお、ガスメーターによりガスは遮断されたとのこと。
126	8/8	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	新築工事業者から「敷地内新築工事時、ガス管を破損。ガスが噴出し手当できない」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う整地工事時にバックホー（掘削機）にて灯外内管を誤って破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
127	8/9	山口	大工	LPガス	0	一般住宅において、建設業者が屋根の張替え工事の作業中に、誤って配管(配管用フレキシ管)を損傷させ、漏えいが発生した。なお、建設業者は直ちに容器バルブを閉栓した。 原因は、建設業者が誤って垂木のない部分に釘を打ち、釘が軒下の配管用フレキシ管を貫通したことによるもの。 なお、建設業者は工事前に配管の位置確認を行わなかったとのこと。
128	8/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋の解体工事中に、ガスを破損。ガスが噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、家屋解体作業中、バックホーにて灯外内管を破損したものの。
129	8/20	兵庫	水道改修工事	都市ガス	0	病院関係者から「2階給湯室の水道修理時に、ガスを破損した。ガス管は壁内で見えていない」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損を確認した。 原因は、水道工事業者が携帯電気ドリルで壁に穴を開ける際に、灯内内管を破損したものの。
130	8/22	福岡	他工事業者	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者より壁の張り替え工事中に誤って配管を切断した旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、ガスメーターが合計・増加流量遮断(C表示)していること及び配管からの漏えいを確認した。 原因は他工事業者が壁内を確認せず壁にカッターを適用し、内部の配管を損傷したことによるもの。 なお、他工事業者は消費者に配管の確認を行なったが、消費者は壁内の配管を把握していなかったとのこと。
131	8/22	京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	増改築工事業者から「店舗増改築工事時コンクリートカッターでコンクリート切断中ガスを破損。手当てできず、ガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、電動コンクリートカッターにてコンクリート切断時、誤って灯外内管を破損したものの。
132	8/24	京都	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内で工事中に、掘削機(バックホウ)でガスを破損し、手当てなし」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ部の破損を確認した。 原因は、整地工事中にバックホウ(掘削機)にて不使用の灯外内管のねじ部を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
133	8/28	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	増改築工事業者から「駐車場の土間をコアドリルにてコア抜き作業中に、ガス管を破損。コアドリルはそのままの状態、濡れタオルで手当中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、敷地内(駐車場)のフェンス設置工事に伴い、土間をコアドリルでコア抜き作業中、誤って灯外内管を破損したものの。
134	8/29	奈良	解体工事	都市ガス	0	警察から「解体工事現場でガス管が破損し、ガスが噴出している」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、解体工事業者が当該敷地内にはガス管は無いものと思込み、基礎コンクリート部分をバックホウにて掘削していた所、灯外内管を破損したものの。
135	8/31	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(40mm:プラスチック被覆鋼管)の損傷を確認した。原因は、解体工事業者が敷地内の樹木を重機にて引き抜いた際、埋設されていた灯外内管を損傷したものの。なお、解体工事業者によると、当該敷地内の樹木を引き抜く作業の範囲内にはガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく重機にて樹木の引き抜き作業を行った結果、敷地内に埋設されていたガス管を損傷したとのこと。
136	9/2	埼玉	植栽業者	LPガス	0	特別養護老人ホームにおいて、消費者から植栽業者による草刈作業中にガス管を損傷した旨の連絡があり、到着した販売事業者が損傷箇所の1次側バルブを閉止し漏えいを閉止した。原因は、草刈作業中に草刈機の刃で埋設ガス配管立ち上がり部を損傷させたことによるもの。
137	9/3	兵庫	解体工事	都市ガス	0	需要家から「屋外でガス臭気あり、消防が出勤中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、解体工事中、掘削機(バックホウ)にて敷地内の灯外内管を破損したものの。
138	9/9	香川	水道改修工事	LPガス(簡易)	0	水道工事業者による鉛管の取替工事時、重機による掘削作業中に、供給管を破損したことによりガスが漏洩し、その後漏洩したガスに着火した。水道工事業者の通報により消防が出勤し、消防からの指示により製造所のメインバルブを閉止した為、供給先全てが供給停止となったもの。原因は、水道工事業者がガス管を確認しないで工事を行ったため。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
139	9/10	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物基礎の解体作業中にガスが噴出した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が基礎を解体する作業の際、灯外内管を重機にて損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスメーターが設置されていなかったことから、当該建物の基礎を解体する作業範囲内にガス管があるとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
140	9/11	東京	解体工事	都市ガス	0	ビル管理者から「当該住所付近にてガス臭気がある」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が建物解体の際、灯外内管を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物内にガスは通じていないものと認識したため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
141	9/13	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「付近住民からガス管が破損され、噴出音があり、臭気もあるとの通報あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、駐車場の増改築工事に伴い、電動ハンマーで研り中に、灯外内管の管体を破損したものの。
142	9/14	長野	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、容器バルブを閉止した。 原因は、水道工事業者である消費者が水道管修理のため、敷地内のコンクリートを掘削した際、誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
143	9/20	奈良	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、門柱解体工事中、バックホウで灯外内管を破損したものの。
144	9/20	福岡	リフォーム工事	都市ガス	0	電化住宅で浴室リフォーム業者が、閉栓中の灯外内管を電動工具(サンダー)で切断した際に火花が漏えいたしたガスに引火した。 原因は、当該住宅が電化のため、リフォーム業者は、ガス管があってもガスが供給されていないと判断し、ガス事業者への照会無しで施工したため着火事故となったもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
145	9/20	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「防護柵設置工事中にカッターでガスを破損した。ガス管はコンクリートに埋まっているため手当できない。臭気あり」との通報を受け、出動したところ、支管の破損を確認した。原因は、転落防止柵設置工事における、コンクリートコア抜きカッターにより支管を破損したものの。
146	9/24	群馬	解体業者	LPガス	0	一般住宅の空き家において、解体工事業者の作業中に外壁に設置されていたエアコンの室外機が作業の振動により配管上に落下し、ガスメーター立ち上がり部の配管継手を損傷させ、漏えいが発生した。
147	9/25	佐賀	他工事業者	LPガス	1	飲食店において、他工事業者より建物改修中に爆発が発生し、当該作業員1名が軽傷を負った。原因は、他工事業者が作業中、誤って電動工具により露出配管を切断したことで、ガスが漏えいしたものの。なお、消費者及び他工事業者より販売事業者への事前照会はなかったとのこと。
148	9/26	東京	解体工事	都市ガス	0	需要家から「道路上でガスのような臭いがする」との通報を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管が損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管を重機で引っ掛け、灯外内管及び供給管を損傷したものの。ガス事業者は解体工事業者の元請け会社より、建物の解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を実施した。その際に切断箇所の位置及び同敷地内には当該集合住宅へのガス管が埋設されていることの周知を行った。なお、解体工事業者によると、当該集合住宅へのガスの通じているガス管が埋設されていることの作業員への引継ぎが適切にされていなかったことから、作業範囲内にガスの通じているガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
149	9/26	東京	解体工事	都市ガス	0	需要家から「道路上でガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が当該建物を解体する作業の際、灯外内管を重機にて損傷したものの。なお、解体工事業者によると、元請け業者より当該建物はオール電化であったこと、また、敷地内に配管されていたガス管にはガスが通っていないことを聞いていたため、既に切断されているガス管と思い込み、ガス事業者へ事前照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
150	9/27	北海道	解体工事	LPガス(簡易)	0	他工事会社から「解体工事中、建物内で折損し着火し、既に消し止め火災はないが、至急来て欲しい」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の損傷及び着火を確認した。原因は、他工事会社がセイバーソーにより、灯外内管を切断したため着火したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
151	9/30	兵庫	その他 (水路転落防止 工事)	都市ガス	0	水路工事業者から「フェンス設置工事時、コア抜き作業中にガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、支管の破損を確認した。 原因は、水路転落防止工事に伴うコア抜きにより、支管を破損したものの。
152	10/1	大阪	現場解体業者	LPガス	0	一般住宅において、現場解体業者より埋設配管を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が到着し、埋設配管の損傷を確認した。 原因は、現場解体業者がLPガス配管を認識していなかったため、油圧ショベルにより誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、現場解体業者は付近に埋設されている都市ガス業者に連絡を行い、到着した都市ガス業者により当該LPガス配管の処置済みであったとのこと。
153	10/1	福岡	他工事業者	LPガス	0	道路において、他工事業者が信号機柱取替のための掘削作業中に重機で埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷させガスが漏れ出した。 なお、他工事業者は販売事業者と事前協議を行ったものの、埋設管の位置確認に縮小図を使用したため、当該埋設供給管を見落としていたとのこと。
154	10/1	大阪	電柱設置工事	都市ガス	0	電話工事業者から「電柱工事時、オーガーにて破損。土砂埋め戻している。臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、支管の損傷を確認した。 原因は、電話工事に伴う電柱設置工事時、アースオーガーにて誤って支管を破損したものの。
155	10/5	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	建設(新築)工事業者から「地盤改良工事時に伴う杭打ち作業中に、ガス管を破損。粘土にて手当中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、地盤改良作業時に、アースオーガーにて誤って灯外内管を破損したものの。
156	10/7	東京	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	舗装工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、低圧供給管からガスが漏れいていたことが判明した。 原因は、舗装工事業者がカッターにて作業したところ、供給管が浅く埋設されていたため損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
157	10/8	和歌山	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「屋外で臭気あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の管体破損を確認した。 原因は、増改築工事業者が、工事支障のため、灯外内管の管体を、都市ガスのガス管では無いと誤認し、のこぎりで切断したもの。
158	10/9	長崎	他工事業者	LPガス	0	飲食店において、集中監視システムより微小漏えい警告を受信した販売事業者が現場に出動したところ、未使用の末端ガス栓(可とう管ガス栓)からの漏えいを確認し、閉栓作業を行った。 原因は、当該飲食店が8月より営業を休止し、9月に他工事業者に燃焼器の撤去を依頼した。他工事業者が撤去作業を行った際、末端ガス栓にプラグ止めを行わずかつ開放したまま作業を終了したことにより、ガスが漏えいしたもの。 なお、消費者は販売事業者に閉栓依頼及びガス機器の撤去作業の連絡をしていなかった。 (バルク貯槽 498 kg×1基)
159	10/13	三重	解体工事	LPガス(簡易)	0	需要家から通報があり、特定製造所を確認した所、ガス切れによる供給支障が発生していた。 原因は、一般住宅の建屋の解体をするための足場を組立てる際に、単管パイプを地面に打込み、灯外内管を損傷させたことにより土中にガスが漏洩し、特定製造所がガス切れとなったもの。
160	10/14	福岡	他工事業者	LPガス	0	病院において、他工事業者がポストの入れ替え工事のため掘削作業を行ったところ、埋設配管を損傷しガスが漏えいした。 なお、他工事業者は工事前に配管があることを確認していなかった。
161	10/16	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者からの依頼を受けた下請け業者が、建物1階へのフェンス設置工事に伴うコンクリートコア抜き作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したもの。なお、下請け業者により当該建物の引込管ガス遮断バルブが閉止されたことで、当該建物内需要家33戸への供給支障が発生した。 また、建設工事業者によると、下請け業者は、当該建物の引込管ガス遮断バルブの位置を予め確認した際に、作業(コア抜き)箇所よりも深い位置にバルブが見受けられたことから、バルブと同じ深さにガス管が埋設されていると思い込み、ガス事業者にガス管位置確認の照会を行うことなく作業した結果、コア抜き用ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したとのこと。
162	10/16	兵庫	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内で掘削中、ガス管が露出したが、施主より残置管と言われたため、サンダーでガス管を切断したところ火が出た。土を被せたが現在も火が出ている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損・着火を確認した。 原因は、施主情報により残置管と勘違いし、灯外内管(不使用管)をサンダーにて切断したことにより着火に至ったもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
163	10/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「通行人より道路でガス臭い。消防出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部の破損を確認した。原因は、解体工事中、掘削機(バックホー)にて灯外内管(不使用管)を誤って破損したものと推定される。
164	10/18	広島	解体工事	都市ガス	0	消防から「建物火災」との通報を受け、出動したところ、建物解体中に灯外内管を損傷し、漏えいしたガスに着火した。原因は、重機で灯外内管を損傷し、建物の鉄骨をアセチレンバーナーにて切断中に漏えいしたガスに着火したものと推定される。
165	10/20	神奈川	解体業者	LPガス	0	一般住宅において、解体業者からガス配管を破損した旨販売事業者に連絡があり、現地を確認したところ供給側の埋設配管の破損を確認した。原因は、解体業者の注意不足によるもの。なお、解体前、販売事業者はガス注意の旨の杭を打ったが、配管経路等の打ち合わせがなく解体する建物のすぐ横を通る埋設管のことは知らなかったとのこと。
166	10/21	石川	衛生工事	都市ガス	0	他工事業者から「ガス管を損傷」との通報を受け、出動したところ、当該建物の排水管の老朽管修繕工事において、コンクリートカッターで灯外内管を損傷したことを確認した。保安確保のため、引込管遮断バルブを閉止したため、34戸の供給支障が発生した。原因は、他工事業者がガス管の埋設位置を確認せずにカッターを入れたため。
167	10/22	東京	その他(不明)	都市ガス	0	圧力監視システムから「圧力異常警報」を受け、出動したところ、差水による供給支障であることが判明した。原因は、過去に低圧本管が他工事により損傷され、その損傷部分より地下水が流入したことにより、低圧本管を閉塞したため供給支障となったもの。
168	10/23	東京	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、設備工事業者が、建物1階の水道工事に伴うコンクリート破り作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものと推定される。なお、損傷箇所の修理のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家38戸への供給支障が発生した。また、設備工事業者によると、敷地内にガス管が埋設されていることは認識していたものの、カッター長さより深い位置に埋設されていると思い込み、ガス事業者によるガス管位置の確認の照会を行うことなくコンクリートを切断した結果、大型カッターにてガス管を損傷したとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
169	10/23	東京	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が、建物1階の排水工事に伴うコンクリート研り作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの、なお、損傷箇所の修理のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家43戸への供給支障が発生した。 また、設備工事業者によると、作業範囲内にガス管はないと思い込み、ガス事業者にガス管位置の確認の照会を行うことなくコンクリートの研り作業をした結果、コンクリートブレーカーにてガス管を損傷したとのこと。
170	10/23	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	造成工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、供給管及び灯外内管の損傷を確認した。 原因は造成工事業者が、基礎コンクリート打設に伴う掘削作業中に、灯外内管を重機で引っ掛け、灯外内管及び供給管を損傷したものの、ガス事業者は造成工事業者より、ガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を実施した。その際には、切断箇所の位置の周知を行った。 なお、造成工事業者によると、ガスの通じているガス管が埋設されていることの引継ぎが適切になされていなかったことから、作業範囲内にガス管があることは認識していたにもかかわらず、当該ガス管が道路上で切断されていると思い込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
171	10/24	神奈川	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、隣接する道路の掘削工事を行っていた水道工事業者から埋設配管を損傷させた旨販売事業者へ連絡があり、販売事業者は火気を使用しないよう指示し出動した。販売事業者が現地を確認したところ、損傷部分には応急措置がされておりガスの漏えいがないことを確認した。 原因は、水道工事業者が当該埋設配管真上に標識シートが無かったため当該部分の掘削工事を行い配管を損傷させたもの。
172	10/25	滋賀	土木舗装工事業者	LPガス	0	空き地において、土木舗装工事業者より埋設管を損傷させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を別の都市ガス業者が受けガス止めの応急措置を実施し、その後都市ガス業者から連絡を受けた販売事業者が到着し、ガス漏えいのないことを確認した。 原因は、土木舗装工事業者が空き地を整地中に重機により誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
173	10/25	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建設(新築)工事業者から「新築基礎工事中、建設機械にてガス管を破損した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、誤ってバックホー(掘削機)にて灯外内管(不使用管)を破損したものの。
174	10/28	東京	リフォーム業者	LPガス	0	介護施設において、リフォーム業者より室内パーテーション作業のためビス止めを行っていたところ、誤って床下の配管に穴を開けてしまい、ガスが漏えいしたため、直ちにリフォーム業者により閉栓された。 原因は、リフォーム業者が配管の位置を確認しないまま作業を行ったことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
175	10/28	愛知	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者から「ガスを管を損傷し、着火した」との通報を受け、出勤したところ、集合住宅敷地内の地盤沈下改修工事にて、コンクリート研り作業中に灯外内管を損傷し、漏洩したガスの着火を確認した。 保安確保のため、引込管遮断バルブを閉止したため、89戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者が、工事範囲にガス管が無いと思い込み研り作業を行ったため灯外内管を損傷したものの。
176	10/29	福岡	建物改修・改装工事	LPガス(簡易)	0	消防から「ガスを管を引っかけ引火、空家の壁が燃焼している」との通報を受け、出勤したところ、外壁等の一部を焼損した。 二次災害防止のため、特定製造所からのガス供給停止により、300戸の保安閉栓を実施した。 原因は、リフォーム業者が、販売目的のため当該建物のリフォーム中、露出立管部を活管であるか否かの確認をせずにサンダーにて切断。切断したガス管より漏えいしたガスに切断時の火花で着火したものの。
177	11/1	兵庫	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体作業中に敷地内のガスを管をユンボにて破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の継手部の破損を確認した。 原因は、掘削機(バックホー)にて灯外内管(不使用管)を破損したものの。
178	11/3	大阪	解体業者	LPガス	0	一般住宅において、周辺住民からガス臭がする旨の連絡を受け、到着した販売事業者がガスを閉止した。 原因は、解体業者が掘削作業中に埋設供給管を損傷させたものと推定される。 なお、解体業者は工事前に販売事業者と打ち合わせを行わず埋設供給管の位置等を確認せずに作業を行ったとのこと。
179	11/3	大阪	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者から「道路掘削中にシューと音がしてガス臭い。消防も出勤中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の管体部の破損を確認した。 原因は、敷地内ポール設置工事時、ボーリングバーにて掘削中、灯外内管を破損したものと推定される。
180	11/4	鳥取	改修業者	LPガス	0	スーパーマーケットにおいて、改修業者による土間コンクリート撤去作業中に埋設配管を損傷させ、コンクリートカッターの火花が漏えいしたガスに引火した。 原因は、スーパーマーケットの担当者が埋設配管は無いものと思い込み、改修業者にコンクリート撤去作業を指示していたことによる。 (バルク貯槽 498kg×1基)

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
181	11/6	兵庫	電柱設置工事	都市ガス	0	協力企業から「電柱工事中、アースオーガーにてガス管を破損。手当てできずガス噴出中」との通報を受け、出動したところ、支管の破損を確認した。 原因は、電気通信電柱の建替え工事時、ガス管埋設位置を誤認し、アースオーガーにて支管（直管部）を破損したものの。
182	11/7	埼玉	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者より埋設ガス配管を損傷させた旨の連絡があり、到着した販売事業者が損傷箇所を確認した。 原因は、水道工事業者が水道配水管の入れ替えを行う際に、表層のコンクリートを切断中に誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、漏えいはガスメーターにより遮断されていたとのこと。
183	11/8	群馬	防草シート施工業者	LPガス	0	一般住宅において、消費者からガスが出ない旨の連絡を受け、販売事業者が現地を確認したところ、配管埋設部に防草シート固定用杭が打ち込まれており、当該箇所からの漏えいを確認した。 原因は、防草シート施工業者が配管埋設部に固定用杭を打ち込んだことによるもの。
184	11/11	埼玉	整地・造成工事	都市ガス	0	付近住民から「マンション建設予定地付近でガス臭い」との通報を受け、出動したところ、マンション建設予定地の敷地境において灯外内管が損傷し、ガス漏洩していることを確認した。 原因は、マンション建設予定地での整地工事において、敷地境界付近に埋設されていた灯外内管（不使用管）を確認せずに作業を行ったため、気づかず建設機械によりガス管を損傷したものの。
185	11/13	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、敷地内の基礎解体に伴うコンクリート研り作業中に、コンクリート内に埋設されていた灯外内管を損傷したものの。 なお、損傷箇所修復のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家34戸への供給支障が発生した。 また、解体工事業者は、元請けの建設工事業者より提供された図面にガス管の記載がないことを確認したことから、当該敷地内の基礎解体に伴うコンクリート研り作業範囲内にはガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
186	11/14	鳥取	その他（転出作業）	都市ガス	0	転出作業中の建物において、都市ガスの閉栓を行わないまま、他工事業者が厨房内のガス機器及び灯内内管の撤去を行い、取り外した接続ネジ部より漏えいしたものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	入浴被害	事故概要
187	11/15	福岡	下水道 工業者	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者より埋設配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者はガス供給設備のバルブへ閉止するよう指示した。現場に到着した販売事業者は埋設配管の損傷を確認し、設備業者による修復工事が完了した。 原因は、下水道工事業者が土砂流入を防ぐ遮蔽板を打ち込んだ際に、深く入り過ぎたため埋設配管を損傷したものの。 なお、販売事業者は事前に下水道工事業者と協議を行っていたが、施工ミスにより事故が発生したとのこと。
188	11/15	大阪	建物建 築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「工事時、ガス管を破損。臭気等不明」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、建築工事中、バックホウによる掘削作業の際に、灯外内管(不使用管)を破損したものの。
189	11/20	大阪	道路舗 装・改修 工事	都市ガス	0	建築工事業者から「側溝工事中、カッター切りにてガス管を破損。臭気、噴出有り」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、側溝改修工事時に舗装カッター切りを行い、灯外内管を破損したものと推定される。
190	11/22	大阪	土質調 査・地盤 改良工 事	都市ガス	0	消防から「更地で何らかの工事中に敷地内のガス管を破損した模様」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う地盤改良工事中、ドリルにて灯外内管(不使用管)を破損したものの。
191	11/22	兵庫	解体工 事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、ガス管を破損するも手当できず。土で埋めている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事時にバックホウにて灯外内管(不明管)を誤って破損したものの。
192	11/23	大分	建物建 築工事	都市ガス	0	他工事業者から「ボーリング作業のドリルがガス管に接触、破損し、ガス臭がしている」との通報を受け、出勤したところ、中圧・灯外内管及び低圧・灯外内管の破損と判明した。 保安確保のため、中圧・引込管遮断バルブを閉止し、52戸を供給停止した。 原因は、当初の計画とは異なる位置においてボーリング作業を行ったため、ガス管を破損したものの。計画変更後の照会は無かった。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
193	11/25	兵庫	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管を破損。土を被せている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事に際し、バックホウにて灯外内管(不使用管)を誤って破損したものの。
194	11/29	千葉	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	協力企業から「敷地内にて地盤改良工事を行っていた建設工事業者よりガス管損傷の報告」との通報を受け、出動したところ、埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、地盤改良のため敷地内を重機で穴をあけていた際、埋設されていた灯外内管30mmを損傷したものの。 ガス事業者は、当該敷地内へのガス管敷設時において、ガスの通じた配管の位置についての周知を行い、また、末端部には表示杭の設置を行った。 なお、建設工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることの引継ぎが適切にされていなかったことから、地盤改良工事に伴う当該敷地への穴あけ作業時において、重機によりガス管を損傷したとのこと。
195	12/1	滋賀	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「新築工事中、掘削機でガス管に穴をあけた。土を被せている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、バックホウにて掘削中、誤って灯外内管(不使用管)を破損したものの。
196	12/3	鹿児島	他販売事業者	LPガス	0	共同住宅において、他のガス会社が配管ルート確認のため試削中に埋設配管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 原因は、販売事業者が配管ルートを確認することなく試削を行ったことによるもの。
197	12/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物解体現場にてガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、建物解体作業中に、灯外内管を重機にて損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行うと共に、切断位置について周知を行った。 なお、解体工事業者によると、敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることは認識していたものの、建物解体に伴う掘削作業中に重機にてガス管を損傷したとのこと。
198	12/6	滋賀	解体業者	LPガス	0	解体予定の一般住宅において、解体業者が植栽の撤去作業中、埋設配管を損傷したものの。 原因は、解体業者が植栽の撤去作業中に埋設配管ねじ部を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者は消費者から家屋解体の予定を聞いていたが、具体的な作業日までは確認ができていなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
199	12/9	東京	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「掘削中にガス臭気がある」との通報を受け、出勤したところ、低圧支管の接続部が破断し、ガスが漏えいしていることが判明した。 原因は、建築現場に埋設されていた支管を重機にて損傷し、支管を引っ掛けた際に、道路上の支管の接続部が破断したものの。
200	12/10	兵庫	水道工事	都市ガス	0	消防から「水道工事業者が工事中にガスを破損し破損箇所を指で押さえている」との通報を受け、出勤したところ、供給管の破損を確認した。 原因は、住宅のリフォームに伴う水道引き込み管工事に際し、コンクリート研り作業時に電動ブレードにて供給管の管体部を誤って破損したものの。
201	12/11	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体中、バックホウ(掘削機)にてガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管のねじ継手部の破損を確認した。 原因は、家屋解体中、灯外内管をバックホウ(掘削機)にて破損したものの。
202	12/11	東京	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	建設工事業者から「地盤調査ボーリングの作業時にガスが噴出した」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、ボーリング作業を重機にて行っていた際、灯外内管を損傷したものの。 なお、損傷箇所修復のために引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該敷地内の建物内62戸への供給支障が発生した。 また、建設工事業者によると、当該建物の施設管理者よりガス及び電気等の配管ルートが記載された敷地内図面を提供され確認していたものの、当該敷地内のボーリング作業範囲内と図面に記載されたガス管ルート位置を見誤ったことで、重機によりガス管を損傷したとのこと。
203	12/14	熊本	設備業者	LPガス	0	老人福祉センターにおいて、排水管工事を行っていた設備業者よりガス管を切断した旨の連絡があり、到着した販売事業者は配管の損傷及びガスメーターによるガスの遮断を確認した。 原因は、設備業者が誤って配管を切断したことによる。 なお、設備業者から販売事業者に対して立会いの依頼の連絡は無かった。
204	12/16	神奈川	リフォーム業者	LPガス	0	一般住宅において、外壁のリフォーム業者から給湯器付近の配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者はガス栓の閉止を指示し現場に出勤した。到着した販売事業者は損傷箇所を修繕し、気密試験、漏えい検査を実施した。 原因は、リフォーム業者が外壁を解体している際に隠れ部の配管用フレキシ管に気づかず損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者は事前に連絡を受けていなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
205	12/16	広島	下水道 工業業 者	LPガス	0	小学校において、下水道工事業者から埋設配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者が現地を確認したところ埋設配管とガスの漏えいを確認した。 原因は、下水道工事業者が掘削作業中に使用中の埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、下水道工事業者は工事前に販売事業者と打ち合わせを行っていたが、下水道工事業者が使用されていない配管を供給されている配管と思い込み作業を行っていたところ、別の供給されている埋設配管を損傷させたとのこと。
206	12/16	埼玉	その他 (雨水管 撤去工 事)	都市ガス	2	区画整理工事業者から「雨水管撤去工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動した。また現場到着前に着火したとの連絡を受けた。 現場到着後、掘削機にて低圧支管が損傷された後、ガス漏えい箇所付近で電動ピックを使用したため着火し、作業員2名の負傷を確認した。 原因は、区画整理工事業者は事前協議でガス管近傍は手掘りによる先掘りを行うように指示を受けたが、実際には先掘りを行わず機械掘削で行ったため低圧支管を損傷したものの。

2018年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1	1/4	愛知	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者が敷地内工事(掘削機による整地工事)中に、灯外内管(32mm)を損傷しガスが噴出した。当該他工事業者はガスパ管を損傷したことを認知せず当日作業を終えたため、夕方通行人よりガス臭があると消防に通報し、消防から通報を受けた。 他工事業者と事前の工事立会を行ったが、損傷した灯外内管が管理図面に記載がなく、ガスパ管があることの指示ができなかった。
2	1/23	兵庫	土木工事	LPガス	0	新規造成地の排水工事において、立ち会った販売事業者がガス臭に気づき、検知器によりガス漏えいを確認した。 原因は、土木工事業者が立会の担当者が到着前に施工を開始し、道路下に埋設している引込供給管が損傷したことによるもの。 なお、土木工事業者は本管の位置と深さについては考慮していたが、引込供給管については考慮していなかった。
3	1/26	広島	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者から「道路上にて下水道工事中に中圧導管を破損し、ガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、中圧本管(300mm)からのガス漏えいを確認した。 原因は、下水道工事業者が事前協議外の場所でボーリングを実施し、中圧導管を破損したことによるもの。 ガス事業者と下水道工事業者は、昨年数回、協議を行っていたが、事故当日分の工事に関しては連絡がなかった。
4	1/31	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建築工事業者から「新築工事時にバックホウにてガスパ管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm:不使用管)が破損されていた。 建築業者からガス事業者への事前照会は無し。
5	2/6	北海道	排雪業者	LPガス	0	一般住宅において、消費者からガス警報器が作動しているとの連絡を受け現場に出勤した消防と、隣人の連絡により現場に出勤した販売事業者が、メーター付近の除雪を行ったところ、ガスメーターの供給管継手部に亀裂があることを確認した。 原因は、事故発生1週間前に当該宅の屋根の雪下ろし作業を行った排雪業者が、容器やガスメーター付近一帯を雪で埋めてしまい、その荷重により供給管継手部が損傷したことによるもの。 なお、販売事業者によると、3週間ほど前の検針時には、当該設備付近は雪に埋まっていなかったとのこと。
6	2/13	鳥取	土木工事	LPガス	2	団地内道路において、下水工事をしていた土木工事業者が重機で道路を掘削中にガスが漏えいした。土木工事業者より連絡を受けた販売事業者1名が現場へ出勤し、漏えいを止めようと掘削穴に進入し、酸素欠乏状態となり意識を失った。また、救出しようと掘削穴に進入した土木工事業者3名のうち1名も同じく酸素欠乏状態となり倒れ、両名とも転倒により軽傷を負った。 原因は、事前協議において、下水工事を行う際、販売事業者の立ち会いを要請することとしていたが、事故発生当日は立ち会いを要請せずに工事を行っていたことによるもの。 なお、対応依頼を受けた販売事業者は、十分な装備がないまま対応を試みたため、二次被害が発生した。
7	2/14	佐賀	土木工事	LPガス	0	共同住宅において、敷地内の下水管入れ替え工事に伴う地盤掘削作業時に、ガス漏えいが発生した。 原因は、掘削用の重機が埋設されていた供給管に接触したことにより、供給管継手部が損傷したことによるもの。 なお、土木工事業者による販売事業者への事前連絡、埋設箇所の確認は行われていなかった。
8	2/20	佐賀	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者が埋設された供給管からのガス漏えいを確認した。 原因は、他工事業者が外構をはつり機で改築する際に、埋設された管を損傷したことによるもの。 なお、他工事業者は、販売事業者に対し、事前に工事の連絡をしておらず、埋設箇所の確認は行われていなかった。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9	2/22	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、低圧本管(300mm)からのガス漏えいを確認した。 当該工事に係るガス事業者への事前照会が無く、カッターによる舗装の切断を行ったため、低圧本管を損傷したものの。
10	2/22	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「道路標識工事中にガス管を破損し、臭気と噴出音あり」との通報を受け、出動したところ、供給管(25mm)を破損し、ガス漏えいを確認した。 原因は、歩道を掘削機(アイオン)にて掘削中に操作ミスし、供給管の継手部を破損したものの。
11	2/25	栃木	造園工事	LPガス(簡易)	0	需要家から「ガス管を損傷した」との連絡を受け、出動したところ、灯外内管(20mm)からガスが漏えいしていた。損傷箇所がコンクリート下で、即座に補修ができない為、特定製造所メインバルブを閉止してガス供給を停止した。同時に、各戸メーターガス栓を閉止した。 原因は、需要家及び造園工事業者が、敷地内にガス管が無いと思い込んでいたため、ガス管の確認をしないで、コンクリート部分をコンクリートカッターで切断していたところ、ガス管を損傷したものの。
12	3/1	埼玉	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者からコンクリートカッターにより埋設供給管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、バルク貯槽の元栓を閉めた後、埋設ポリエチレン管上部が損傷していることを確認した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、使用されたコンクリートカッターは火花が出ないタイプであったため、引火には至らなかったと推測される。
13	3/3	北海道	改装工事	LPガス	0	社員寮において、改装工事業者から配管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が、容器バルブを全て閉栓するよう工事業者に依頼し、現場に出動したところ損傷部周辺でのガス漏えいを確認した。その後、工事業者に対し作業の停止を依頼し、防食テープで損傷部をふさぎ、翌日に床下点検口へ排風機を接続し、送風や吸引を行った後、配管の修繕作業を行った。 原因は、改装工事業者がコンクリートの床に排水配管用の穴を開ける作業中に誤って床下の配管を損傷したことによるもの。
14	3/4	福岡	除草作業等	都市ガス	0	消防から「需要家が樹木の根を伐採中に電動ノコギリでガス管を切断した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管(30mm)が破損し、ガス漏えいを確認した。 原因は、当該需要家が敷地内のガス管位置を確認することなく、樹木の伐採を行なったため、当社への事前照会は無し。
15	3/6	山形	整地・造成工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者が宅地造成現場にて重機により灯外内管(20mm)部分を掘削し、その際、灯外内管を折損したが、業者の誰もガス管折損によるガス漏洩には気づかず、折損箇所の埋め戻しを行った。 ガス漏洩により、特定製造所のガス切れとなり供給支障に至った。
16	3/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事現場で臭気」との通報を受け、出動したところ、不使用の灯外内管(32mm)の破損箇所を確認した。 解体工事時、掘削機(バックホウ)で灯外内管の中央部を引き抜く等により、継手部の破損に至ったことでガス漏れが発生したと推定される。 不使用管につき切断プラグ止めて、復旧完了。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
17	3/14	新潟	路盤改修工事	LPガス	0	共同住宅において、路盤改修工事業者から、作業中に埋設供給管を傷つけ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、漏えいを確認した。 原因は、路盤改修工事業者の作業ミスにより埋設供給管が損傷したことによるもの。
18	3/15	山形	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、管理会社よりガス配管撤去のため依頼を受けた販売事業者が現場へ到着したところ、すでに解体業者が工事を開始しており、供給管が折損し、ガスが漏えいしていたため、直ちに容器のバルブを閉栓した。 原因は、解体業者が作業中に重機を埋設供給管に接触させ、継手部に負荷がかかり折損したことによるもの。 なお、解体業者から埋設管の有無に関する照会は行われていなかった。
19	3/16	静岡	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、検針員より圧力式微少漏えい警告(BR)が表示されている旨の連絡を受けた販売事業者が、翌日現場へ出勤し、露出部の漏えい検査を行った。しかし、漏えい箇所を特定できなかったため、床下の金属フレキシブルホースを切り離し、漏えい試験を行ったところ、漏えいが確認されなかったことから、漏えい箇所を床下配管と特定した。その後、改装工事業者へ依頼し、床下配管を確認したところ金属フレキシブルホースに釘打ちによるものと思われる小さな穴を確認した。原因は、改装工事業者による床板施工の際の釘打ちにより金属フレキシブルホースが損傷したものと推定される。
20	3/23	山口	住宅工事	LPガス	0	団地内の一般住宅において、住宅工事業者が敷地内の駐車場拡張のため、重機による掘削作業を行っていたところ、ガスが漏えいした。 原因は、住宅工事業者が敷地内の埋設管の存在を確認せず、作業を行い、埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、工事前に販売事業者への事前連絡は行われていなかった。 また、損傷したガス管を使用していた当該住宅は、事故発生時空き家であり閉栓中であった。
21	3/26	山口	土木工事	LPガス	0	共同住宅において、複数の入居者よりガスが使用できないとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤したところ、土木工事業者により埋設供給管が切断されガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、工事に立ち会っていた都市ガス事業者が、当該供給管が都市ガスからLPガスへの切り替え時にそのまま転用されていることを認識しておらず、使用されていないガス管と考え切断したことによるもの。
22	4/2	茨城	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者から、誤って埋設供給管を引っ張った旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤したところ、埋設された本管(供給管)と引き込み管へ取り出すためのねじ込み継手(サービスチー)のねじ込み部からの漏えいを確認した。 原因は、外構工事業者が駐車場増設の為に敷地内の土を平らにするためのすきとり作業を行ったところ、小型のパワーショベルカーで埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、ねじ込み継手(サービスチー)の埋設部分の表示杭が抜かれていたため、外構工事業者が埋設供給管があることを確認できなかったとのこと。
23	4/5	島根	リフォーム工事	都市ガス	1	他工事業者(リフォーム工事業者)の作業員が、灯外内管(25mm)にガスが供給されていないと思い込み、灯外内管のメーター立て管をグラインダーで切断した。その際、ガスが漏洩していたが、漏洩に気付かずに、そばにある灯内内管のメーター立て管をグラインダーで切断したため、その火花が漏洩したガスに引火した。 リフォーム工事の作業員は、消火しようとした時に顔に軽い火傷を負った。 他工事業者(リフォーム工事業者)からガス事業者への事前照会無し。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
24	4/11	新潟	その他 (消雪パイプ打替工事)	都市ガス	0	他工事業者から「消雪パイプ打替工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、道路に埋設されていた中圧本支管(80mm)をアスファルトカッターで損傷したことを確認した。損傷箇所直近の中圧路線上のバルブ3ヶ所を閉止し、132戸が供給停止となった。 当該消雪パイプ打替工事は路面を深さ30cm程度掘削して行われる工事であり、マッピング情報で中圧管の埋設深さが0.75mであったことから、工事に支障はないと思い込んで試掘せずに工事を実施した結果、当該箇所では浅く埋設(0.24m)されていたことから、アスファルトカッターで損傷した。
25	4/14	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から「敷地内杭打ち工事中オーガーにてガス管破損、臭気及び噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm)及び供給管(25mm)の破損を確認した。 原因は、新築工事の基礎工事前の試掘時にオーガーにて、灯外内管管体部及び供給管継手部を破損したものの。
26	4/19	広島	掘削工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者の重機掘削により供給管(20mm)が損傷し、供給支障となったもの。
27	4/20	東京	駐車場等工事	都市ガス	2	他工事業者から「駐車場建設工事中ガス管損傷」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(30mm)が損傷し、ガスが漏えいしていた。 ガス漏えい対応を行った際、他工事業者の作業員が実施したコンクリート研り作業中、漏えいしたガスに着火し他工事業者の作業員2名が負傷した。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
28	5/11	埼玉	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が敷地内の埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、当該住宅は2017年8月に都市ガスへ切り替わったがLPガスの埋設供給管が残存しており、解体工事業者が埋設供給管の存在を知らずに、作業を行ったことで、当該供給管を損傷させたことによるもの。
29	5/11	北海道	外構・門扉工事	都市ガス	0	消防から「外溝工事中、ガス管を損傷」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管(25mm)の損傷を確認した。 他工事業者が外溝工事を行うため、敷地内を重機(バックホウ)にて掘削した際、ガス管の存在に気付かず埋設されていた灯外内管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 建設工事業者及び当該需要家からガス事業者へのガス管照会は無し。
30	5/15	長野	駐車場等工事	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が駐車場を増設するために敷地内を掘削していたところ埋設供給管(ポリエチレン管)を切断し、ガスが漏えいした。 原因は、他工事業者が埋設管の位置を確認せずに工事を行い、埋設供給管を重機で切断したことによるもの。
31	5/15	群馬	基礎工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者による本支管損傷によるガス漏えい発生に伴い、特定製造所内のメインバルブを閉止して、ガスの供給を遮断した。 他工事業者に事前照会を行ったが、当該業者の確認作業が不足し、本支管に損傷を及ぼした。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
32	5/16	佐賀	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で供給管を損傷し、ガスが漏えいした。解体工事業者から連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、バルブの閉栓と、供給管の閉止処理を行った。 原因は、解体工事業者が供給管の存在を認識しておらず、販売事業者への確認なしに作業を行ったため、重機で埋設供給管からの立ち上がり部を損傷してしまったものと推定される。 なお、当該一般住宅は長期間空き家となっていたため、ガスメーターを撤去し、供給管はプラグ止めを行っていたとのこと。
33	5/17	岐阜	建柱工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者から「建柱工事でアースオーガにて掘削中、ガス臭有」との通報を受け、出勤したところ、供給管(25mm)の破損と判明した。掘削構内で即座に対処できず、保安確保のため特定製造所のバルブを閉止、133戸を供給停止した。 原因は、他工事業者が工事範囲にはガス管がないと推測し、アースオーガにて掘削したことによるもので、ガス事業者への事前照会は無し。
34	5/17	東京	排水工事	都市ガス	0	他工事業者から「敷地内排水工事中ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、強いガス臭気を確認した。二次災害防止のため、引込み管遮断装置を閉止し、1棟46戸の供給支障が発生した。 原因は、床コンクリート研り工事中、建設機械にて灯外内管(100mm)を破損したものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
35	5/18	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建設工事業者から「改装工事中、ガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、灯内内管(80mm)の破損を確認した。 原因は、建物改装工事による廊下コンクリート研り作業時、電動チェンソーにて灯内内管直管部を破損したものの。 建設工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
36	5/18	神奈川	不明	LPガス	0	一般住宅において、工事業者がウッドデッキの施工のために地面の穴開け作業を行っていたところ、電動ドリルを埋設配管(塩化ビニル被覆鋼管)に接触させ、損傷したことによりガスが漏えいしたものの。
37	5/21	大阪	整地工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)から「敷地内土留めH鋼打設工時にガス管を破損、ガス噴出中」との通報を受け、出勤したところ、地中に埋設されていた灯外内管(25mm)からのガス漏えいを確認した。 原因は、敷地内土留め工事に伴うH鋼打設時に、バックホウ(掘削機)にて灯外内管継手部を破損したものの。 整地工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
38	5/22	奈良	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から協力企業を通じて「敷地内の新築基礎工事中にガス管を破損し、仮手当できず」との通報を受け、出勤したところ、供給管・灯外内管(30mm)からのガス漏えいを確認した。 新築工事の基礎工事中、バックホウにて供給管・灯外内管の管体を破損したものの。 建設工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
39	5/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、急にガス臭気がしてきた。若干噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(50mm)からのガス漏えいを確認した。 解体工事中、重車両の通行により灯外内管継手部から漏えいしたものと推定される。 解体工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
40	5/26	神奈川	解体工事	都市ガス	0	協力企業から「解体工事業者が、コンクリート切断時にガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm)からガスが漏えいしていた。 原因は、コンクリートカッターにて灯外内管を損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
41	5/27	福島	住宅工事	LPガス	0	一般住宅及び共同住宅が混在する敷地内において、住宅工事業者が基礎工事を実施した際に、重機で埋設配管および水道管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、工事の元請け業者は販売事業者への連絡の必要性を認識していたものの、工事の下請け業者が予定を前倒して工事を行ったため、販売事業者へ連絡せず、埋設配管の位置を把握しない状態で工事を行い、重機により埋設配管を損傷させたことによるもの。
42	5/29	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中における歩道上カッター切り時に、臭気噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管(80mm)の破損を確認した。 水道工事における舗装カッター切りにて、供給管の継手部を破損したものの。
43	5/30	北海道	基礎工事	都市ガス	0	需要家から「屋外でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、需要家宅に隣接する工事現場でガス臭気を確認した。 原因は、他工事業者が杭打ち工事を行うため敷地内をオーガーにて杭打ちした際、ガス管の存在に気づかず埋設されていた灯外内管(30mm:ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
44	6/4	兵庫	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が作業中に埋設管を損傷したが、損傷したことに気付かず埋め戻し、後日、同じ水道工事業者が別の箇所を掘削し埋設水道管を切断、水道管のバルブを取り外そうとトーチバーナーを使用した際に爆発が生じた。 なお、当該住宅のオーナーには工事の際は販売事業者へ事前連絡の上、事前協議と工事の立会が必要である旨の周知を行っていたが、オーナー及び水道工事業者からの事前連絡はなかったとのこと。
45	6/4	東京	建物建築工事	都市ガス	0	消防から「ガス臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管(40mm)からのガス漏えいを確認した。 原因は、他工事業者がオーガーにて敷地内に埋設されている灯外内管を損傷したものの。 なお、他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
46	6/4	北海道	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「掘削中にガス管を破損した」との通報を受け、出勤したところ、支管(50mm:ポリエチレン管)からのガス漏えいを確認した。 原因は、当日の工程には無い歩道の掘削が必要となったが、ガス事業者に対して工事内容の変更連絡を行わず、また、ガス管近傍の掘削を重機で行ったことにより破損に至ったもの。
47	6/14	大阪	建設工事	都市ガス	1	建設工事業者から「工事中にガス管を破損し一瞬火が付いたが今は消えている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(40mm)の破損を確認した。 原因は、バックホウ(掘削機)にて不明灯外内管を破損し漏洩したガスに、矧り工事中に発生した火花が着火源となり引火したことによるもの。 建設工事業者よりガス事業者への事前照会は無し。 なお、矧り作業中の作業員一名が軽度の火傷を負った。
48	6/16	北海道	排水工事	都市ガス	0	排水工事業者から「敷地内排水工事中ガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、掘削溝内のコンクリート構造物のひび割れ箇所から灯外内管(50mm:白ガス管)のガス漏えいを確認した。 原因は、排水工事業者が排水工事に係る掘削工事を行った際、掘削ルート上にあったコンクリート構造物に巻き込まれたガス管を損傷させ、ガスが漏えいしたものと推定される。 排水工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
49	6/18	神奈川	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者から「マンション敷地内舗装工事中、2か所でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、広範囲に臭気を確認した。二次災害防止のため、引込み管ガス遮断装置を閉止し、1棟76戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者が電動削岩機で舗装を壊した際、灯外内管(100mm)を損傷したものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
50	6/19	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内地下構造物解体工事中ガス臭い」との通報を受け、出動したところ、本管(150mm)を損傷したことを確認した。原因は、オーガーで敷地内掘削中、道路に埋設されていた本管を損傷したものの。解体工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
51	6/23	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中ガス管損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管(32mm)の損傷を確認した。原因は、解体工事中掘削機にて灯外内管を損傷したものの。解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
52	6/25	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中ガス管損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管(32mm)の損傷を確認した。原因は、解体工事中掘削機にて灯外内管(不使用)を損傷したものの。解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
53	6/26	千葉	足場工事	LPガス	0	当該共同住宅の隣に建設中の新築住宅の工事現場において、足場工事業者から埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした旨の連絡を受けた販売事業者は、足場工事業者に火気厳禁、メーターガス栓の閉止、消費者への周知、容器バルブの閉止を依頼し、現場へ出動したところ当該漏えい箇所を確認した。原因は、足場工事業者が設置する足場を固定するための杭を地中に打ち込んだ際、埋設ポリエチレン管を損傷したことによるもの。
54	6/28	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がバックホーで、支管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
55	6/30	東京	解体工事	LPガス	0	空き家となっている一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、販売事業者は解体工事業者に対して事前に埋設配管の存在及び閉止位置を伝えていたものの、作業員まで情報が伝わっておらず、埋設配管の存在を認識せずに作業を行ったため、重機で埋設配管を損傷してしまったものと推定される。
56	7/4	徳島	設備工事	LPガス	0	飲食店において、他工事業者(設備工事業者)がエアコン取付作業中に壁貫通工事を行った際、天井裏のガス配管(SGP25A)のエルボを誤って傷つけてしまったとの連絡を受けた販売事業者が現地に駆けつけたところ、損傷部からガスが漏えいしていることを確認した。原因は、他工事業者(設備工事業者)が事前に確認をせずに壁貫通工事を行ったことによるもの。
57	7/12	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管へ着火したとの通報があり出動したところ、灯外内管腐食漏れ箇所より漏出したガスに酸素溶接作業の火花が着火していた。原因は自然劣化及び他工事によるもの。
58	7/12	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事中に灯外内管を損傷し、ガスが漏えいした。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
59	7/17	沖縄	水道工事	LPガス	0	共同住宅の地下共同溝内において、水道工事業者が給水管を切断しようとした際、誤って配管を切断し、ガスが漏えいした。原因は、工事責任者が作業員に対し、切断する管を明確に指示しないまま現場を離れたことで、作業員がLPガス配管を水道管と誤認し、切断したことによるもの。
60	7/17	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
61	7/18	福岡	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、外構工事業者より、庭の改修工事中に重機にて埋設供給管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、漏えいを確認した。原因は、外構工事業者が販売事業者と事前協議した日程を前倒し、また事前協議では予定していなかった重機を用いた作業を行い、埋設供給管を重機により損傷したことによるもの。
62	7/19	山形	リフォーム工事	LPガス	0	一般住宅において、LPガスが漏えいしたため、メーターが合計増加流量遮断を行うとともに、現場にいたリフォーム工事業者が容器バルブを閉めた。原因は、他工事業者(リフォーム工事業者)が床下の配管用フレキ管を電動ノコギリで切断したことによるもの。なお、他工事業者(リフォーム工事業者)から事前にガス配管撤去工事を依頼する旨の連絡があり、具体的にはリフォーム工事の日程等が決定してから改めて連絡があるとのことであったが、その後連絡はなかった。また、事故のあった建物は店舗兼自宅であり、そのうち自宅にのみLPガスが供給されており、今回のリフォームは店舗部分によるものであった。
63	7/21	大阪	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者から誤って供給管に接触し損傷させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた消防が現場へ出動し、ガスの漏えいを確認した。原因は、解体工事業者が作業中に重機をガスメーター入口側への立ち上がり供給管に接触させ、折損したことによるもの。なお、販売事業者は不動産管理会社から解体工事が実施される旨の事前連絡を受けていたものの、その日程を聞いていなかったため、当日は販売事業者の立ち会いなく、工事が実施されたとのこと。
64	7/21	岐阜	給排水工事	LPガス	0	事務所において、給排水工事業者から埋設配管を損傷し、ガスが漏えいしたため、容器バルブを閉栓したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、配管の損傷を確認した。原因は、給排水工事業者がコンクリート及びアスファルトの研り作業中に研り機で埋設配管(ポリエチレン管)を損傷したことによるもの。なお、販売事業者が現場へ到着した際には、漏えいは止まっており、安全装置の作動もなかったとのこと。
65	7/27	群馬	害虫駆除	LPガス	0	共同住宅において、害虫駆除業者から、薬剤を注入するための穴を建物周囲に開けていたところ、誤って埋設管を破損させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設供給管からの漏えいを確認した。原因は、住宅管理会社や害虫駆除業者から販売事業者から事前連絡がなかったことにより、埋設供給管を認識していない状態で作業を行ったことによるもの。
66	7/31	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防から「建物火災。アーケード撤去工事中に出火。」との通報を受け、出動したところ、家屋の一部焼損及び灯外内管(32mm:塩化ビニルライニング鋼管)継手部に穴あき箇所を確認した。原因は、消防によると、解体工事業者にてアーケード支柱撤去のため、溶断作業中、溶断の火花が灯外内管にあたり、穴あき・着火したものの。解体工事業者からガス事業者への事前照会無し。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
67	7/31	千葉	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がアーケードの支柱撤去の溶断作業中、作業の火花で灯外内管継手部を破損し、漏えいしたガスに着火、家屋に引火・一部焼損したもの。
68	8/1	東京	道路工事	LPガス	0	一般住宅において、集団供給先の一軒が都市ガスへ切り替えるために、作業を行っていた都市ガス工事業者が、道路の掘削作業時に埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、都市ガス工事業者が埋設管の存在を知らずに作業を行い、重機で埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者に対する事前の連絡は行われなかったとのこと。
69	8/8	京都	整地・造成工事	都市ガス	0	建設工事業者から「敷地内掘削工事中にガス管を破損。臭気及び噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管(25mm:ポリエチレンライニング鋼管:不使用管)が破損されていることを確認した。 原因は、建設工事業者が土留め工事中、バックホーにて、供給管の継手部を破損したもの。 建設工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
70	8/10	東京	水道改修工事	都市ガス	0	給水管工事中にガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は他工事によるもの。
71	8/17	愛媛	解体・整地工事	LPガス	0	一般住宅の跡地において、近隣住民からガス臭がする旨の連絡を受けた都市ガス供給業者が現場へ出勤し、埋設供給管の継手部が損傷しガスが漏えいしていることを確認したため、漏えい箇所の応急処置を行い、LPガス販売事業者に連絡した。連絡を受けた販売事業者が現場にて漏えい箇所を確認し修理を行った。 原因は、過去の火災で焼失した物件の解体及び整地工事を行っていた他工事業者が作業中に埋設供給管(ポリエチレン被覆鋼管)を損傷したことによるもの。 なお、当該他工事業者は供給管の損傷に気付いていなかったとのこと。 また、当該一般住宅はLPガスの集団供給から都市ガスへの切り替えを行っていたが、集団供給の供給設備である埋設供給管が敷地内に残存していたことから漏えいに至ったとのこと。
72	8/22	大阪	水道工事	都市ガス	3	協力企業から「道路面水道工事中、電動ブレーカーにてガス管を破損。火が付いたが消火済み。臭気あり。」との通報を受け、出勤したところ、供給管(30mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。 原因は、協力企業と水道工事業者が協議中、水道工事業者がバックホーで供給管を破損。漏えいしたガスに電動ブレーカーのモーター部の火花が着火源となり着火したものと推定される。 着火により、水道工事業者2名と協力企業1名が火傷を負い、それぞれ、自ら病院へ通院した。
73	8/23	千葉	水道工事	都市ガス	0	水道工事会社より非常に臭いとの通報を受け、現場に到着したところ、強い臭気を確認したため、消防に出勤要請し、プラグ止めを行った。 原因は、工事場所付近供給管があることを知っていたにもかかわらず、手掘りをせずに掘削したことによるもの。
74	8/29	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管が損傷していた。 原因は、下水道工事の施工者が工事箇所付近にガス管が近接していないと判断し、工事を行ったため、埋設管を損傷したもの。 なお、事前の工事照会は無かった。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
75	8/31	東京	建設工事	都市ガス	0	工事業者からガスを損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。 原因は、建設工事業者が新築工事の施工にあたり、事前に照会を行わないまま露出管を何らかの残置管と思い、アセチレントーチを用いて切断作業を行ったため、漏えいしたガスに引火、火災となったもの。
76	9/6	奈良	解体工事	LPガス(簡易)	0	ガス事業者から「解体工事業者から家屋解体中、ガス臭気あり」との連絡を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管取出し部(塩化ビニールライニング鋼管)を損傷させ、ガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内の家屋解体工事中に、ガス管の存在を把握していなかったため、掘削機にて灯外内管及び供給管取出し部を破損したものの。
77	9/6	東京	建物建築工事	都市ガス	0	旧簡易ガス団地において、他工事業者(建設業者)が、家屋解体工事中に掘削機で灯外内管を損傷させた影響で、本支管と供給管の接続部からガスが漏えいし、特定製造所にて供給停止し、供給支障が発生した。
78	9/6	埼玉	外構工事	都市ガス	0	需要家及び消防からガスを損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
79	9/7	千葉	掘削工事	LPガス	0	空き地において、近隣住民からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、掘削業者が重機にて掘削作業を行っており、埋設供給管(ポリエチレン管)が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、掘削業者が作業中に重機を埋設供給管(ポリエチレン管)に接触させ、損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者はガス管が埋設されている旨の表示をしていたが、掘削業者からの事前連絡はなかったとのこと。
80	9/10	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガスを損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し被覆が焼損していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
81	9/13	岡山	建設工事	LPガス	0	共同住宅において、建設工事業者から土砂の撤去工事中にガスが漏えいした旨の連絡を受けた消防が現場へ出動したところ、埋設供給管(鋼管)からの漏えいを確認した。 原因は、建設工事業者が作業中に埋設供給管に誤って重機を接触させ損傷させたことによるもの。
82	9/17	鳥取	解体工事	都市ガス	0	消防から「通行人からガス臭いとの通報」を受け、出動したところ、灯外内管(25mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が埋設物を未確認のまま、境界ブロックを解体中に、誤って灯外内管を破損したが、ガス管破損に気が付かず放置したものの。
83	9/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで、支管継手部を破損し、ガスが漏えいした。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
84	9/22	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がアースオーガーで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
85	9/26	北海道	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	駐車場整備のため、重機による工事で誤って埋設管を破損し、ガスが漏えいした。
86	9/28	神奈川	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事中ガス管を損傷した」との通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
87	9/29	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで、供給管を破損し、ガスが漏えいした。
88	10/1	大阪	解体工事	LPガス	0	空き家において、販売事業者が解体工事の立会を行い、ガスメーター立ち上がり部及び埋設配管の一部を撤去し、埋設配管を露出させ、プラグ止めを行った上で、次回の工程で配管に干渉する工事を行う場合には再度連絡をするよう解体工事業者に依頼した。しかし、後日行われた作業では、解体工事業者から販売事業者への事前連絡なく作業が行われ、解体工事業者が作業中に重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 なお、配管の撤去時と事故発生時は解体工事業者の担当者が異なっており、異なる担当者からも事前連絡を行うよう配管の撤去時の担当者に対し依頼していたが、販売事業者への連絡に関する担当者間の引継ぎが十分に行われていなかったとのこと。
89	10/4	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
90	10/11	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。
91	10/12	三重	整地工事	都市ガス	0	他工事業者が整地工事をしていたところ、灯外内管を損傷しガスが噴出した。
92	10/15	奈良	解体工事	都市ガス	0	協力会社(遠隔監視センター)より、「遮断信号受信」との通報を受けて調査した結果、マイコンメーターで圧力低下を確認。供給管継手部(アスファルトジュート巻き鋼管)の破損箇所への差し水が認められ、周辺の需要家において供給支障が発生した。 原因は、家屋解体工事に伴い側溝をカットした際、埋設管を損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
93	10/18	滋賀	害虫駆除	LPガス	0	共同住宅において、管理会社からガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ容器が全て空になっていることを確認した。 原因は、害虫駆除業者が当該建物の駆除作業を行う際に、薬剤を注入するための穴をドリルで開けた際に、埋設供給管を損傷させたことによるもの。
94	10/19	奈良	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に埋設管を損傷し、ガス臭がしている旨の連絡を県協会を通じて受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設供給管(鋼管)が損傷し、ガスが漏えいしていることを確認した。原因は、解体工事業者が作業中に重機を埋設供給管に接触させ、損傷したことによるもの。 なお、当該一般住宅はすでに集団供給からオール電化に切り替えを行っており、消費者が敷地内に残存する埋設管の存在を知らなかったとのこと。 また、販売事業者も消費者に対し、敷地内に埋設管が残存する旨を伝えていなかったとのこと。
95	10/21	宮城	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は、本来昭和50年に新たに供給管を取り出し直した際に本管でプラグ止めしておくべき古い管であったが、何らかの理由でプラグ止めされないまま放置され、図面上からも放置されていたことによるもの。
96	10/25	東京	解体工事	都市ガス	0	建物所有者から、解体工事の地下にてガス臭気がするとの通報を受けたガス事業者が調査したところ、地下1階のがれき撤去作業中にガス管が損傷したことを確認した。 原因は、埋設管を縁切りされてる水道管と間違え、切断したことによるもの。
97	10/26	埼玉	解体工事	LPガス	0	他工事業者が空き家解体作業中に使用していた小型ショベルカーでLPガス集中配管(埋設)を破損し、LPガスが漏えいした。他工事業者から誤って通報を受けた都市ガス事業者が元栓を閉止し漏えいを止めた。その後連絡を受けたLPガスの事業者が供給を受けていた全ての家庭(10戸)にボンベを設置し供給を再開した。なお、破損された集中配管(埋設)の復旧は未定。
98	10/28	大阪	増改築工事	都市ガス	0	他工事業者(増改築工事業者)が掘削ドリルで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
99	10/29	岐阜	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	駐車場等工事業者がが玄関前に手すりを設置するためのコア抜き作業中、灯外内管(PE管)を損傷しガスが漏えいした。
100	10/29	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がボーリングマシンで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
101	10/31	宮城	外構・門扉工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者が新築工事中に外構工事を行っていた際、小型重機で灯外内管を損傷し、ガス漏えいが発生した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
102	11/1	愛知	整地・造成工事	都市ガス	0	敷地内工事(新築のための掘削工事)中に他工事業者が灯外内管を損傷しガスが噴出し、消防が付近道路を交通規制した。
103	11/2	鳥取	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が重機による作業中に供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、解体工事業者が外壁に固定されていた供給管ごと建物の解体を行ったことで、供給管が引っ張られ、上流の埋設供給管継手部に負荷がかかり折損したことによるもの。
104	11/5	京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者がバックホーにて、供給管を破損し、ガスが漏えいした。 なお、事前に照会は無かった。
105	11/7	兵庫	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
106	11/7	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は、整地工事業者がガス管の埋設物調査を行わず、未照会のまま掘削作業を行ったことによるもの。
107	11/8	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が重機を使って空き家の解体工事中にLPガス配管(埋設)を破損し、LPガスが漏えいした。解体事業者は都市ガス事業者に通報し、出動した都市ガス事業者の従業員が漏えいしている配管にテープ巻きして漏えいを止めた。都市ガス事業者から連絡を受けた事業者はプラグ止めを行い、同日15時40分、復旧作業を完了した。当事故現場はLPガス50kg容器x18本の集団供給方式であったが、事故による他の需要家への供給停止は無かった。原因は他工事業者の作業ミスによるLPガス埋設管損傷。
108	11/8	兵庫	増改築工事	都市ガス	0	他工事業者(増改築工事業者)がコアドリルで、灯内内管(亜鉛引き鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
109	11/14	大阪	整地工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
110	11/15	長野	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者がオール電化への切り替えに伴った住宅の建て替えのための掘削作業を行っていたところ埋設管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、解体工事業者が重機を埋設供給管(ポリエチレン管)へ接触させ、損傷したことによるもの。 なお、当該住宅は、以前に集団供給による供給を行っていた建物であったが、事故当時は契約が解除されており、供給していなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
111	11/17	京都	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
112	11/19	神奈川	建設工事	都市ガス	0	需要家からガス臭いとの通報があり出動したところ、供給管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(建設工事)によると考えられる。
113	11/20	岐阜	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者からガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設配管(ポリエチレン管)が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、外構工事業者が作業中に重機を埋設配管に接触させ、損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者と外構工事業者は事前に協議を行い、配管の位置を確認しており、かつ配管の周囲には注意喚起の表示があったものの、誤って埋設配管に接触させてしまったとのこと。
114	11/20	福島	解体工事	LPガス	0	空き家となっている一般住宅において、解体工事業者からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、集団供給で使用する埋設供給管(鋼管)が損傷し、ガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、解体工事業者が作業中に重機を埋設供給管(鋼管)に接触させ、損傷したことによるもの。
115	11/20	鳥取	建設工事	LPガス	0	事務所において、建設工事業者から埋設管を損傷しガスが漏えいした旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設配管(白管)の中間ガス栓が損傷していることを確認した。 原因は、建設工事業者が作業中に重機を埋設配管(白管)の中間ガス栓に接触させ、損傷したことによるもの。
116	11/24	東京	基礎工事	都市ガス	0	ガス漏れにより着火したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は基礎工事によると考えられる。
117	11/26	神奈川	芝刈り	LPガス	0	芝刈り業者の作業員が芝刈り機で誤って供給側のガス管を切断し、ガスが使用できなくなった。緊急対応事業者が対応し、その後事業者が配管のつなぎ替えをして午後には供給を再開した。原因は芝刈り作業ミスによる配管切断。
118	11/26	広島	解体工事	都市ガス	0	解体工事中に灯外内管を破損した。
119	11/29	長野	改装工事	LPガス	0	事業者はガス漏えいに気づいた需要家からの通報を受け、その場で元栓を閉めるよう指示して現場に出動した。損傷部分はメーターと消費設備の間の部分で、即修理を行い復旧した。原因はレストラン改装工事中に工事業者が誤って釘をガス管に打ち込み、ガスが漏えいしたものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
120	11/29	神奈川	建物建築工事	都市ガス	0	消防から新築工事現場でガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
121	11/30	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
122	11/30	東京	建設工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建設工事)によると考えられる。
123	12/1	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。
124	12/3	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が解体作業物を倒壊したことで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
125	12/3	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
126	12/4	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(新築工事業者)がオーガーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
127	12/6	山口	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が宅内で漏水修理工事中にガスフレキ配管を損傷し、ガスが漏えいしたのでバルブ閉栓し、ガスを止めてから事業者に通報。事業者は現場で復旧作業を行いガス供給を再開した。原因は水道工事業者の作業ミスと推定される。
128	12/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
129	12/8	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がコアドリルで、支管を破損し、ガスが漏えいした。
130	12/10	栃木	建設工事	LPガス	0	建設会社がバックホウで掘削作業中に埋設ガス配管(PE管)を損傷し、ガスが漏えいした。事業者は損傷箇所を切断プラグ止めにて復旧済。原因は建設会社の埋設配管の事前確認不足と思われる。
131	12/11	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していたため、引込み管ガス遮断装置を閉止し供給支障が発生した。工事業者によると原因は他工事(改装工事)によると考えられる。
132	12/11	東京	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(地盤調査)によると考えられる。
133	12/13	岡山	解体工事	都市ガス	0	解体工事よりガス管を破損したとの連絡があり、調査したところ、ガス管の破損を発見した。原因は、家屋解体中に破損したことによるもの。
134	12/14	兵庫	水道工事	LPガス(簡易)	0	旧簡易ガス団地において、水道工事業者が水道管入替工事中に供給管を重機で引っかけたことにより本管接続部から脱落しガス漏れが発生したため、特定製造所において全戸(88戸)の供給停止をした。
135	12/15	群馬	解体工事	LPガス	0	家屋解体事業者からの通報で出動し、現場では消防により容器のバルブが閉められガス漏れは停止していることを確認した。原因は他工事業者が家屋解体工事中に重機をぶつけてガス配管を損傷し、ガス漏れしたものと推定される。
136	12/20	沖縄	その他工事	LPガス(簡易)	0	他工事の不発弾磁気探査のため、ボーリング調査中、ガス管を貫通し破損。
137	12/21	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事に当たり、掘削機(バックホー)にて灯外内管を破損した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
138	12/24	福岡	水道工事	LPガス	0	他工事業者が水道管工事の際、誤って埋設LPガス配管をディスクグラインダで切断しガス漏えいした。S型メータが遮断したため、ガス漏えいは少量。事業者は当該配管をプラグ止めて復旧済み。原因は他工事業者の作業ミスと推定される。
139	12/25	東京	解体工事	都市ガス	0	東京消防庁からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
140	12/26	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がカッターで、灯外内管(アスファルトジュート巻き鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
141	12/26	長野	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事中にメーター立て管を折損し、ガスが噴出した。

ガス管損傷事故を防ぐための 3つのポイント

工事の前にガス管の位置をしっかり確認。
作業員全員で情報共有し、ガス管損傷事故を防ぎましょう。

Point ①

工事前にまず確認!

工事前にガス管位置やガスが通じていないことを確認。ガス管付近は特に慎重に手掘り等で作業する。



Point ②

不明な場合は ガス事業者へ連絡!

ガス管の位置や深さが不明な場合やガス管の撤去・移設工事が必要な場合。その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



Point ③

情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、図面などで作業員全員で情報を共有する。



ガスの事故がなくなるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。



ガスの安全

検索

<http://www.meti.go.jp/>



お問い合わせは

敷地内の工事に携わるみなさまへ



参考資料 3
経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

敷地内で工事を行う際は、 ガス管の確認を!



工事の前に
ガス管の確認、
忘れてませんか?

必ず
確認!





ガスの
あんしん
合い言葉

ちょっと待て! そのすぐ下には ガス管が!?

建物の改築・解体・給排水
工事などをはじめる前に
ガス管の位置確認を!

《工事の前に》

ガス管の位置やガスが通じていないことを
必ず確認してください。

《ガス管近傍で工事を行う場合》

あくまでも慎重に作業を進めてください。

《不明な点は》

ガス事業者にご相談ください。

《ガス臭いと感じた時》

火気や電動工具の使用を避け、
すぐにガス事業者に連絡してください。



敷地内他工事におけるガス管損傷事故を防ぐために、ご協力をお願いします。

ガスパ損傷事故 防止のため、 **工事の安全 チェック**

毎日、工事の前にしっかりチェック！

作業員全員で情報共有して、ガスパ破損事故を防ぎましょう。

〈チェック項目〉



工事前に必ず確認！

- ✓図面などで工事前にガスパの位置を確認。
- ✓ガスパのガスが、どこまで通じているか確認。
- ✓ガスパ付近では手掘り作業をするなど、作業のポイントを確認。



不明な点はガス事業者へ確認！

- ✓ガスパの位置や深さが不明な場合。
 - ✓ガスパの撤去・移設工事が必要な場合。
 - ✓ガスパにガスが通じているか不明な場合。
 - ✓協議になかった管が出てきた場合。
- ※その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



工事はあくまでも慎重に！

- ✓工事は、ガスパの位置や深さを再度確認してから。
- ✓ガスパの近くでは、重機を使用せず、手掘りにて慎重に作業を。



作業員全員で情報共有を！

- ✓ガスパの位置情報や、ガスパ近くでの手掘り等作業のポイントを必ず作業員全員で情報共有をお願いします。



ガスの事故がなくなるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

ガスの安全見直し隊

ガスの安全

検索

<http://www.meti.go.jp/>



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

ガスパ管調査窓口検索

ガスパ管の位置が不明な場合、日本ガス協会にアクセスし、以下の手順で各地域のガス会社の「ガスパ管調査窓口」が確認できます。

スマートフォンやパソコンから ➡ **日本ガス協会** **検索**
<https://www.gas.or.jp/gas-pipe/>



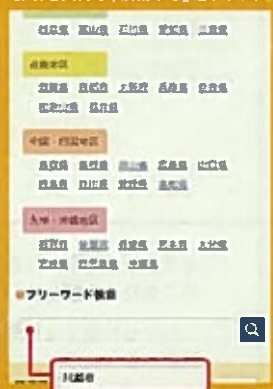
step 1

左上のメニューボタンから「ガスパ管調査窓口検索」を選びます。



step 2

検索したい都道府県または市名、郡名を入力し「検索する」をクリック。



step 3

検索結果一覧からガス会社の連絡先の確認をおこないます。



万一、ガスパ管を
損傷して
しまったら…

- 1 落ち着いて、すぐにガス会社まで連絡する。
- 2 窓やドアを開けて換気をする。(換気扇は使用しない)
- 3 火気や電動工具は使用しない。
※コンクリートカッター・はつり作業、配管切断作業で発生する火花も着火源となります。
- 4 周囲へ周知、状況に応じて避難と避難誘導をする。
- 5 可能な場合はガスの噴出を止める。

ガス漏れ時の緊急連絡先

— 掘削、解体・撤去、増改築・改装工事をされる皆様へ —

ガスパ管損傷による事故を起こすと、

ケガ・火傷

のほか、

火災・爆発

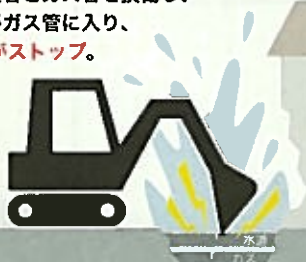
など近隣住民への迷惑、加えて

工事停止 損害賠償 労働災害

に発展し、

会社に損失が生じることになります。

必ずやろう>>> 安全確認基本チェックシート

	掘削 工事をする方へ 道路・敷地内を掘削（はつり・カッター含む）・杭打ち・整地など	解体・撤去 工事をする方へ 建物や構造物を取り壊す	増改築・改装 工事をする方へ 既設建物や設備の改修
工事前確認	道路 ☐ 道路を工事する際はガス会社※へ連絡・協議しましょう 敷地内 ☐ ガス管の図面は持っていますか？ ☐ 工事範囲にガス管がないか確認しましょう ☐ 「ガス管の位置・深さ」はわかりますか？ ☐ 「ガスが通じているか」わかりますか？ ☐ ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう ☐ 不明な点はガス会社※へ確認しましょう ※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照	☐ 解体建物のガス管にガスが通じていないことを確認しましょう ☐ ガスが通じている場合、ガス会社へ切断処理を依頼しましょう ☐ 解体建物に別の建物のガス管が通っていないか確認しましょう（例：解体するA棟の中に、B棟のガス管がある場合など） ☐ ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう ☐ 不明な点はガス会社※へ確認しましょう ※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照	☐ ガス配管の図面は持っていますか？ ☐ 工事範囲にガス管がないか確認しましょう ☐ 「ガス管の位置」はわかりますか？ ☐ 「ガスが通じているか」わかりますか？ ☐ ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう ☐ 不明な点はガス会社※へ確認しましょう ※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照
工事時確認（現場確認）	☐ ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう ☐ 工事場所付近にガス管の標示※がある場合、付近にガス管があるため注意して作業しましょう ☐ 工事場所付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に手掘りで行いましょう ※【埋設ガス管の標示例】  注意！ 埋設ガス管にはポリエチレン管が多く使われています。材質がポリエチレンというプラスチックのガス管で、衝撃が加わると破損してしまいますので、十分ご注意ください。	☐ ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう ☐ 作業対象にガスメーターが設置されている場合、ガス管の切断処理をガス会社へ依頼しましょう  注意！ ガスメーターが撤去済でもガス配管の切断処理をするまでは配管にはガスが通じています。 	☐ ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう ☐ これから作業する配管が目的の配管で間違いがないか確認しましょう ☐ はつり・穴あけ・壊し作業付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に作業しましょう 【露出ガス管の標示例】  ガス管標示シール 【ガス管損傷の例】  コンクリート内のガス管をドリルにより損傷した例
事故事例	下水工事のカッター作業中にガス管を損傷。漏えいしたガスを止めようと、周りのコンクリートをはつった際の火花で着火。作業員1名が顔面と両腕に火傷を負いました。 	建物解体工事中に、水道管とガス管を損傷し、水道管から噴出した水がガス管に入り、周辺の約150戸のガスがストップ。事故を起こした工事会社は多額の損害賠償を請求されました。 	改修工事に伴う排水管工事の際、設備図面の十分な確認をせず排水管と思い込み、ガスが通じているガス管に穴をあけ、電動工具の火花で着火。作業員1名が火傷を負いました。 

建設業労働災害防止協会 専務理事 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課
建設安全対策室長

建設工事等におけるガス管損傷による労働災害の防止について

標記については、労働安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 32 号、以下「安衛則」という。）第 355 条に基づき地山の掘削の作業を行う場合の作業箇所及びその周辺の地山についての埋設物等の有無及び状態の調査の実施等、事業者に対してガス管損傷による労働者への危害を防止するための措置の実施が義務付けられており、また、平成 19 年 3 月 22 日付け基発第 0322002 号「建設業における総合的労働災害防止対策の推進について」により、改修工事において、作業計画にガス会社等への事前連絡等についても定めるよう指導しているところです。

今般、別添のとおり、昨年に引き続き経済産業省産業保安グループガス安全室より、建設工事等におけるガス管損傷事故の防止に関する事業者等への要請について協力依頼がありました。

つきましては、建設工事におけるガス管損傷事故による労働災害を防止するため、貴協会会員に対し下記の事項について周知徹底してくださるようお願いいたします。

なお、経済産業省ホームページ（建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について：https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2021/03/20210302-01.htm）に関連情報が掲載されていますので、ご参照ください。

記

1 くい打ち機等によるガス導管等の損壊の防止（安衛則第 194 条関係）

くい打機又はボーリングマシンを使用して作業を行う場合は、ガス導管等の有無及び状態を当該ガス導管等を管理する者に確かめる等の方法により調査し、その結果に適応する措置を講じること。

2 ガスが存在するおそれのある配管の溶断等（安衛則第 285 条関係）

溶接、溶断その他火気を使用する作業又は火花を発するおそれのある作業を行う場合は、ガスが存在するおそれのある配管については、あらかじめ、不活性ガス又は水を封入すること等により爆発又は火災の防止のための措置を講じること。

3 地下作業場等（安衛則第 322 条関係）

可燃性ガスが発生するおそれのある地下作業場において作業を行う場合、又はガス導管からガスが

発散するおそれのある場所において明り掘削の作業を行う場合は、爆発又は火災を防止するため、次に定める措置を講じること。

一 ガスの濃度を測定する者を指名し、その者に、毎日作業を開始する前及び当該ガスに関し異常を認めたときに、当該ガスが発生し、又は停滞するおそれがある場所について、当該ガスの濃度を測定させること。

二 ガスの濃度が爆発下限界の値の三十パーセント以上であることを認めたときは、直ちに、労働者を安全な場所に退避させ、及び火気その他点火源となるおそれがあるものの使用を停止し、かつ、通風、換気等を行うこと。

4 地山の掘削の作業前の調査（安衛則第 355 条関係）

地山の掘削の作業を行う場合は、あらかじめ、作業箇所及びその周辺の地山について埋設物等の有無及び状態を、埋設物等の所有者又は管理者に対して照会し、その結果に応じた手順を定め、これにより作業を行うこと。

5 ガス管による危険の防止（安衛則第 362 条関係）

ガス管に近接する箇所で明り掘削によりガス管を露出させる作業を行う場合は、作業指揮者を指名して、その者の直接の指揮により、ガス管をつり防護、受け防護等により防護し、又は、あらかじめガス管を移設する等の措置を講じてから作業を行うこと。

6 掘削機械等の使用禁止（安衛則第 363 条関係）

明り掘削の作業を行なう場合において、掘削機械、積込機械及び運搬機械の使用によるガス導管等の損壊により労働者に危険を及ぼすおそれのある場合は、掘削機械等を使用しないこと。

7 改修工事における爆発防止（「建設業における総合的労働災害防止対策」関係）

改修工事における作業計画には、ガス会社への事前連絡等についても定め、これに基づく作業を徹底すること。

8 経済産業省からの要請に基づくガス管損傷事故の再発防止

- （１）工事前には、ガス事業者には、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者から立会を求めること。
- （２）ガス事業者から照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- （３）ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- （４）敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- （５）工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者と連絡すること。
- （６）ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者と連絡すること。

事 務 連 絡
令和 3 年 3 月 9 日

各労働基準監督署長 殿

神奈川労働局労働基準部安全課長

建設工事等におけるガスパ이프損傷による労働災害の防止について（要請）

標記について、令和 3 年 3 月 5 日付け事務連絡により厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長から別添のとおり通知がありましたので留意願います。

なお、別添 3 により建設業労働災害防止協会神奈川支部に対し、建設工事等におけるガスパ이프損傷による労働災害の防止について要請を行っていることを申し添えます。